

社会福祉法人鷺山会では以下の情報開示を行っております。

- ・ 財産目録
- ・ 事業報告書
- ・ 介護職員等処遇改善加算の取得状況
- ・ 賃金改善以外の処遇改善に関する具体的な取り組み内容

以下の情報は電子開示システムへ掲載しています。

- ・ 現況報告書
- ・ 計算書類
- ・ 定款
- ・ 役員報酬等規程
- ・ 役員名簿

[※電子開示システムはこちら](#)

財産目録
令和 7年 3月31日現在

(単位:円)						
貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部						
1 流動資産						
現金預金 現金 普通預金	現金手許有高	—	運転資金として	—	—	897,085,533
	本部／トモ銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	728,823
	本部／中国銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	17,319,958
	倉敷シルバーセンター／広島銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	63,981
	倉敷シルバーセンター／広島銀行(利用料)児島支店	—	運転資金として	—	—	55,435,850
	倉敷シルバーセンター／トモ銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	3,195,979
	倉敷シルバーセンター／トモ銀行(利用料)児島支店	—	運転資金として	—	—	10,542,232
	シルバー・イー・ビィセンター／トモ銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	24,584,500
	シルバー在宅介護支援センター／広島銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	48,849,223
	シルバーケアハウス／広島銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	6,874,212
	岡山シルバーセンター／中国銀行稲荷支店	—	運転資金として	—	—	3,432,047
	岡山シルバーセンター／中国銀行(利用料)稲荷支店	—	運転資金として	—	—	51,876,709
	岡山シルバー在宅介護支援センター／中国銀行稲荷支店	—	運転資金として	—	—	208,925,295
	岡山シルバー・イー・ビィセンター／中国銀行稲荷支店	—	運転資金として	—	—	23,034,405
	ケアハウスゆうステイ岡山／中国銀行稲荷支店	—	運転資金として	—	—	110,629,466
	倉敷市児島中部高齢者支援センター／広島銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	24,769,160
	倉敷シルバーナッシングホーム／トモ銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	74,926,798
	倉敷シルバーナッシングホーム／中国銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	27,270,825
	通所リハビリテーション／トモ銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	50,000
	小計					4,108,888
	倉敷シルバーセンター／トモ銀行児島支	—	運転資金として	—	—	695,889,528
	定期預金	—	2、3月分介護報酬等	—	—	200,467,182
	事業未収金	—	実費費、自販機売上	—	—	215,606,867
	未収金	—	軽費老人ホーム事務費補助金	—	—	285,863
	未収補助金	—	休職職員給与控除分等	—	—	10,266,444
	立替金	—	火災保険料等	—	—	1,766,512
	前払費用	—		—	—	2,814,629
流動資産合計						1,127,825,848
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(法人本部)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	—	職員用駐車場に使用している	—	—	10,239,888
	(法人本部)倉敷市児島柳田町386番2他	—	法人本部（等）に使用している	—	—	506,000
	(法人本部)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	—	法人本部（等）に使用している	—	—	62,456
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	—	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	—	—	85,837,929
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	—	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	—	—	4,796,921
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	—	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	—	—	71,041,298
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	—	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山（等）に使用している	—	—	28,219,702
	(倉敷シルバーナッシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	—	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナッシングホーム（等）に使用している	—	—	66,871,550
	小計					267,575,744
	(法人本部)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1994年度	法人本部（等）に使用している	5,150,000	3,635,385	1,514,615
建物	(法人本部)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2023年度	法人本部（等）に使用している	70,493	6,295	64,198
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1987年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	321,687,600	301,092,468	20,595,192
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1989年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	108,608,299	99,675,824	8,932,475
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1991年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	370,400,100	321,331,906	49,068,194
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1992年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	17,201,000	13,972,452	3,228,548
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1998年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	19,380,000	15,460,985	3,919,015
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2003年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	2,203,215	2,181,168	22,047
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2004年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	13,597,500	13,597,499	1
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2010年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	473,550	467,973	5,577
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2011年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	661,465	661,463	2
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2012年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	4,427,409	3,637,136	790,273
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2013年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	9,673,957	6,920,143	2,753,814
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2014年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	22,663,657	16,529,681	6,133,976
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1					

	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2015年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	1,978,708	1,292,586	686,122
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2016年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	12,096,000	6,037,470	6,058,530
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2021年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	1,661,000	280,717	1,380,283
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2023年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	3,156,597	275,558	2,881,039
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2024年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	1,375,000	2,978	1,372,022
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1995年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	238,929,500	194,544,095	44,385,405
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2009年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	808,500	808,499	1
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2011年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	60,361	60,360	1
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2012年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	3,366,311	2,749,257	617,054
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2014年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	643,211	468,934	174,277
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2015年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	1,475,644	972,110	503,534
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2016年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	756,000	175,266	580,734
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2023年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	645,935	57,700	588,235
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2024年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	4,950,000	107,250	4,842,750
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	1995年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	581,500,484	472,921,838	108,578,646
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2012年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	138,600	138,599	1
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2014年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	8,635,148	6,329,676	2,305,472
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2015年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	2,683,800	1,768,170	915,630
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2023年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	966,020	104,123	861,897
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	1995年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山（等）に使用している	206,401,225	166,383,330	40,017,895
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2014年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山（等）に使用している	87,696	60,218	27,478
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2015年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山（等）に使用している	1,096,200	722,209	373,991
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2023年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山（等）に使用している	394,570	42,530	352,040
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1998年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム（等）に使用している	664,623,036	521,856,341	142,766,695
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2008年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム（等）に使用している	119,900,000	86,655,775	33,244,225
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2011年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム（等）に使用している	229,999	229,997	2
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2012年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム（等）に使用している	3,217,048	2,620,657	596,391
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2013年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム（等）に使用している	7,203,000	5,467,670	1,735,330
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2014年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム（等）に使用している	7,389,230	5,074,026	2,315,204
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2015年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム（等）に使用している	55,711	36,386	19,325
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2023年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム（等）に使用している	2,219,277	198,249	2,021,028
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2024年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム（等）に使用している	742,500	3,217	739,283
	(倉敷市児島中部高齢者支援センター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2011年度	公益事業である、地域包括支援センター倉敷市児島中部高齢者支援センター（等）に使用している	232,050	208,588	23,462
	(倉敷市児島中部高齢者支援センター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2022年度	公益事業である、地域包括支援センター倉敷市児島中部高齢者支援センター（等）に使用している	935,000	68,878	866,122
	(倉敷市児島中部高齢者支援センター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2023年度	公益事業である、地域包括支援センター倉敷市児島中部高齢者支援センター（等）に使用している	27,498	2,452	25,046
小計						498,883,077
基本財産合計						766,458,821
(2) その他の固定資産						
建物	(法人本部)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2005年度	法人本部（等）に使用している	140,532	140,531	1
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2005年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	890,795	890,790	5
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2007年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	420,750	420,748	2
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2008年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	700,000	699,999	1
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2011年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	937,114	649,809	287,305
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2012年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	2,725,000	2,297,402	427,598
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2015年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	973,080	646,527	326,553
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2016年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	3,407,030	2,362,648	1,044,382
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2017年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	2,187,000	1,283,184	903,816
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2018年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	1,783,742	815,161	968,581

	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2020年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	4,208,211	948,145	3,260,066
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2021年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	377,300	77,939	299,361
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2022年度	第一種社会福祉事業である、特別養護法人ホーム倉敷シルバーセンター（等）に使用している	11,305,226	3,574,796	7,730,430
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2008年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	1,747,811	1,747,808	3
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2011年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	174,078	120,706	53,372
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2013年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	179,025	179,024	1
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2014年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	976,303	703,179	273,124
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2018年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	31,044	13,340	17,704
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2020年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	195,052	58,806	136,246
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2022年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス（等）に使用している	830,469	339,170	491,299
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2001年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	557,550	557,549	1
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2002年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	699,195	699,194	1
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2008年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	19,066,806	19,066,758	48
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2016年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	732,800	412,410	320,390
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2017年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	594,000	346,846	247,154
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2018年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	1,445,641	661,855	783,786
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2019年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	2,147,040	851,117	1,295,923
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2020年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	6,956,950	2,159,569	4,797,381
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2021年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	2,530,173	1,467,596	1,062,577
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2022年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター（等）に使用している	772,959	183,443	589,516
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2005年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山（等）に使用している	131,250	131,249	1
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2008年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山（等）に使用している	2,044,540	2,044,536	4
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2018年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山（等）に使用している	235,336	107,741	127,595
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2019年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山（等）に使用している	876,960	347,639	529,321
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2020年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山（等）に使用している	963,150	132,567	830,583
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2021年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山（等）に使用している	5,060,000	1,214,821	3,845,179
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2022年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山（等）に使用している	862,741	127,992	734,749
	(倉敷シルバナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2005年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバナーシングホーム（等）に使用している	386,872	386,871	1
	(倉敷シルバナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2011年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバナーシングホーム（等）に使用している	663,308	459,944	203,364
	(倉敷シルバナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2013年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバナーシングホーム（等）に使用している	1,144,500	907,391	237,109
	(倉敷シルバナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2017年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバナーシングホーム（等）に使用している	3,888,000	2,245,320	1,642,680
	(倉敷シルバナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2018年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバナーシングホーム（等）に使用している	113,974	48,991	64,983
	(倉敷シルバナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2019年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバナーシングホーム（等）に使用している	587,400	216,452	370,948
	(倉敷シルバナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2022年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバナーシングホーム（等）に使用している	4,139,852	1,580,893	2,558,959
	(倉敷市児島中部高齢者支援センター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2016年度	公益事業である、地域包括支援センター倉敷市児島中部高齢者支援センター（等）に使用している	372,000	371,999	1
	(倉敷市児島中部高齢者支援センター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2022年度	公益事業である、地域包括支援センター倉敷市児島中部高齢者支援センター（等）に使用している	132,273	46,254	86,019
		小計				36,548,123
構築物	反射鏡 他29件	—	安全対策等	118,145,967	44,325,586	73,820,381
機械及び装置	分包機印字装置・設置台 他1件	—	利用者の薬分包等	1,648,500	1,648,498	2
車輛運搬具	スズキワゴンR／岡山53え5336 他30件	—	利用者送迎用等	39,232,461	39,137,569	94,892
器具及び備品	平行棒 GH-260 他665件	—	利用者のリハビリ等	294,812,922	221,558,537	73,254,385
有形リース資産	ほのぼのシリーズ サーバー、ルーター 他10件	—	請求業務、介護記録等	1,871,040	1,871,040	0
権利	電話債権 他25件	—	電話等	1,929,324	0	1,929,324
ソフトウェア	給与計算ソフト 給与奉行21 他42件	—	職員給与計算等	7,961,686	6,959,952	1,001,734
無形リース資産	ほのぼのシリーズ ソフトウェア7使用権（按分） 他10件	—	介護請求、介護記録等	16,823,400	3,084,290	13,739,110
退職給付引当資産		—		—	—	114,023,194
人件費積立資産	定期預金	—	ケアハウスゆうステイ岡山の将来における人件費のために積み立てられている	—	—	2,000,000
備品等購入積立資産	定期預金	—	シルバナーケアハウス、岡山シルバーセンターの将来における備品購入費のために積み立てられている	—	—	18,000,000
長期前払費用		—		—	—	22,200
その他の固定資産合計						334,433,345
固定資産合計						1,100,892,166
資産合計						2,228,718,014

II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—		—	—	99,901,150
1年以内返済予定リース債務		—		—	—	3,364,680
預り金	その他	—		—	—	19,887
職員預り金	源泉所得税	—		—	—	2,592,847
	特徴住民税	—		—	—	2,103,200
	財形貯蓄	—		—	—	520,000
	弁当代	—		—	—	142,600
	小計					5,358,647
賞与引当金		—		—	—	62,923,494
未払消費税等		—		—	—	536,900
流動負債合計						172,104,758
2 固定負債						
リース債務		—		—	—	10,374,430
退職給付引当金		—		—	—	117,240,454
固定負債合計						127,614,884
負債合計						299,719,642
差引純資産						1,928,998,372

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 鷺山会

- 介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム 倉敷シルバーセンター
- 通所介護 シルバーデイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所 シルバー在宅介護支援センター
- 地域包括支援センター 倉敷市児島中部高齢者支援センター
- ケアハウス シルバーケアハウス

特別養護老人ホーム 倉敷シルバーセンター 令和6年度事業報告書

＜基本理念＞

「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

「事務課」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. ご利用者に、明るく優しく 思いやりを持って対応します
- b. ご利用者の顔と名前を覚えて笑顔で接する

＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 来所者に顔をあげて笑顔で対応する
- b. 連携を取りながら素早く対応する

＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. 所内研修等に参加し、レベルアップに努める
- b. 情報の共有を徹底する（報告・連絡・相談）

＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. 節電・節水・節紙に努め、物品を大事に使用する
- b. 価格の比較をしてコストダウンに努める

＜評価＞

- 概ね達成できているが、接する機会の少ないご利用者の顔までは覚えることが難しかった。
- 待たせることのないよう対応出来ていると思う。
- 人員が減った分情報共有がしやすくなった。動画視聴になる時もあるが、研修参加は継続する。
- コストダウンを意識して行動するようになった。

「相談課」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. 面会時には積極的に情報提供を行い、連絡方法を工夫しながら、定期的(3ヶ月に1度)に連絡し、満足して頂ける対応に努める
- b. ご利用者や現場スタッフとのコミュニケーションやカンファレンスを通じて、ニーズ把握に努め、情報共有シートやミーティングなどで部署内で情報共有を行う

＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 各種地域行事へ参加するなど、積極的に自ら地域へ出て行き、地域との関係を深める活動を行う
- b. 他施設や医療機関との交流を深め、緊急性の高いケース等の受け入れ等助け合える関係作りに努める

＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. OJT、OFF-JTを活用した人材育成とサポート
- b. 必須研修を中心に、職員のニーズやスキルアップを反映した内容にし、eラーニングの活用や映像を残し、多くの職員が参加出来るよう工夫する(新規)
- c. 職員の意見、意欲を考慮した外部研修への参加支援を行い、内容を施設全体で共有出来るよう工夫する
- d. BCPや避難訓練を充実させ、防災への意識を高める(新規)

＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. 入所退所後平均7日での受け入れを目標にし、スムーズな受け入れが出来るよう工夫する(新規)
- b. 入所97.5/日、ショートステイ10.0/日以上の実績(新規)
- c. 困難事例、単発での積極的な受け入れ
- d. 節電、節水等に努め、備品を大切かつ適正に扱い、消耗品などの見直しによりコスト削減に努める
- e. SDGS委員会を通して職員全体が意識できるよう発信していく(新規)

＜評価＞

- 定期連絡は定着してきているが、忘れることがある。電話以外の方法を検討したい。現場・部署内の情報共有が不十分なため、現場との環境作りが課題。
- 包括と協力して地域行事に現場職員も含め参加できた。緊急ショート受け入れもできており、他機関との関係は良好だった。
- 人材育成の難しさを感じる。OJTは部署によって活用できていない。eラーニングで法定研修は網羅できた。今後は参加率を上げる工夫や効果の検証が必要。BCPの周知が不十分だった。
- 合計での目標は達成できたが、平均7日での受け入れは達成できていないので、実行可能な数字にする。

「栄養課」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. 行事等を立案から参加し、計画的に行う
- b. 積極的にデイルームへ行き食事観察を行う

＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 包括支援センターから栄養改善教室などの要請があれば対応する
- b. 地域住民のニーズに合わせた栄養教室を実施する(新規)

＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. 外部の研修へ積極的に参加し、身につけた知識を多職種にも共有する
- b. 多職種と多く関わり、介護に必要な知識を身につける
- c. 定期的に情報共有の場を設ける

＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. 使い捨て食器は適切な量を使用し無駄を減らす
- b. 機器の劣化がある為必要時は買い替えを行い、メンテナンスによる余分な費用を削減する
- c. 関連する加算内容を十分に理解し多職種で連携しながら確実に実施する

＜評価＞

- 行事は例年通りの物が多かったが、時々栄養士主体で企画・実施することができた。ミールラウンドも今まで通り行えた。居室で過ごされているご利用者の状態把握も行えた。
- 今までよりも栄養教室の回数も増え、地域の方の要望に合わせたものができた。
- 外部研修には参加できていないが、所内研修では多職種に知識を共有できた。ご利用者の情報共有は十分に行えなかったが、その他の業務については共有できた。
- 使い捨て食器は使用量を減らすことができた。厨房機器の買い替えをし、余分な費用を抑えることができた。加算は実施できているが、十分に理解できていないと言えない。

「看護課」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. ご利用者の表出出来ない訴えに注意を払い早期の対応を図る(新規)
- b. ご利用者が求める尊厳のある看護の提供を行う
- c. 個人の状態に合わせ、プライバシーに配慮した看護ケアを行う

＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 嘱託医、生活相談員、協力病院と連携し、地域から求められる医療に出来る限り対応できるように努める(新規)
- b. 感染症流行の状況を把握し、予防方法を周知徹底し、感染防止に努める

＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. 嘱託医・協力病院と情報交換を行う
- b. ターミナルケアや認知症ケア、自立支援へ医療面から支援する(新規)
- c. 外部研修や自己学習で学んだ知識を医務内で情報共有し、業務に活かす

＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. 医療保険を活用し、施設の負担を可能な限り軽減する
- b. 適切な医療材料、衛生材料の選択、適切な使用方法や使用料を意識し、看護ケアを行う(新規)

- c. 医療材料、衛生材料を購入する際は、品質や価格のバランスを考慮する(新規)
- d. 節電・節水・温度管理を意識する

＜評価＞

- 援助側の理由で配慮に欠けている部分やプライバシーに配慮したケアについては引き続き考えていき、意向に沿った看護提供を行っていく。
- 感染動向について主治医や委員会を通して把握できおり、多職種との連携を図っていく。
- 内部研修で得た知識を業務で活かせるようにし、得た知識を職員間で共有しながらスキルアップにつなげたい。
- 居室のTVや電気が無駄についていることがあるので声をかけ合いながら節電に努めていく。衛生材料は無駄のないような使用を心がけている。

「介護課・ほのぼのユニット」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. ・普段からスタッフ間で気付いたことや提案などを情報交換し、個別ケアへつなげる(新規)
- b. 日頃から自分の言動を見直したり、スタッフ間でフォローや協力しながら接遇に配慮した対応を心がける(新規)

＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. ご家族が安心して関われるよう、いつでもご利用者一人ひとりの状態をきちんと把握し、ご家族と情報共有していきます(新規)

＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. 個人が身に付けた知識や技術を積極的にユニット内で共有します（新規）
- b. お互いがスキルアップ出来る関わりが出来るような関係と環境作りに努めます(新規)

＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. コストについて考え、こまめに見直します(新規)
- b. 新しい手段や代替案があれば提案します(新規)
- c. 全ての物品をきれいに長く使えるよう管理します。（新規）

＜評価＞

- 忙しさを余裕がなくなり反省すべき言動があった。振り返りや反省はできているので、スタッフ間でフォローし合いながらやさしく丁寧なケアを継続したい。
- 全体的に接遇に配慮出来ていたが、ご家族への情報提供にムラがあったので、良い関係作りに努めたい。
- 各自で知識や技術を発信したり共有していき、ユニット全体のスキルアップにつなげたい。
- コスト意識が高まってきていると感じているので継続したい。物品の掃除や点検が不十分なので、分担するなどの工夫をしたい。

「介護課・陽だまりユニット」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. 挨拶や介助前後の丁寧な声かけを行い、安心して過ごしていただけるよう努めます
- b. 居室の整理整頓や、ご利用者の整容ケアに配慮します(新規)

＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 陽だまり通信や来所時に様子をお伝えすることで、ご家族の方と関わります
- b. 細やかな情報をユニット内で統一し、他職種との情報共有を行い、連携していきます

＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. ユニット間で互いにアドバイスや意見交換が出来る環境作りをします(新規)
- b. 学んだことを日々の業務に反映し、スキル向上につなげます

＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. 使用していない所の電気やテレビはこまめに消します
- b. 備品の管理や清掃を行い、長く使用できるように努めます

＜評価＞

- 丁寧さは個々でばらつきがあるので、尊敬の気持ちをもって接したい。整理や整容ケア

- については全体的に達成度が低かった。
- 面会に対して丁寧な対応ができていないが、関わりについては不十分だった。他職種との連携はまずまず行っている。
- 職員間で相談しやすい環境が作られているが、情報共有が不十分だった。
- 備品の管理はできているが、コスト意識についてはもっと高めていきたい。

「介護課・和ユニット」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- ご利用者の生きがいにつながるよう、余暇活動や個別ケアへの取り組みを行う
- 優しい声かけや返事を心掛ける

＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- ご家族にご利用者の近況を伝えられるようユニットからの情報を発信する
- 職員間で情報を共有し、面会時に統一した状態報告を行う

＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 職員間でご利用者の情報共有を図り、心身の状態やそれぞれのご利用者が持つリスクを把握し、事故を未然に防止する
- ご利用者が安心・安全な状態でケアが出来るよう個々に合った介助を行います

＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- ご利用者の身だしなみを整え清潔を保ち、居室内の環境整備を行う
- 居室の照明やエアコンをこまめに消す

＜評価＞

- 個別ケアについては不十分だった。余暇時間はまずまず活用できているが職員によって差がある。
- 面会時に近況を伝えることができた。情報共有については全体で行えるよう努めたい。
- リスクマネジメントについて職員で意識の差がある。全体的な知識や技術の向上に努めたい。
- 職員間で身だしなみや清潔についての意識の差がある。全体で対応していきたい。

「介護課・やすらぎユニット」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- ご利用者の精神・身体状態に合わせながら落ち着いて過ごせる環境を作ります

＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 面会時などご家族にきちんと目を見て挨拶をする
- 面会時には日頃の様子を報告し、積極的にコミュニケーションを取ります

＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- (安身サービス委員会)ひやりはっと、インシデント用紙を活用し、未然に事故が防止出来るように職員間で情報共有します
- (感染症対策委員会)感染症マニュアルを活用し、職員の意識を高めます
一人ひとりに適したマットやクッションを使用し、褥瘡予防に努めます
- (行事・レク委員会)季節に応じた行事を組み入れることで、メリハリのある生活を送っていただきます

＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 居室の電気、ヘッドライト、豆電球、エアコンはご利用者不在時はこまめに消す
- 備品を適切に使用し、定期的な点検と清掃を行います

＜評価＞

- ご利用者の状態に合わせた声かけや対応を行い安心して過ごせる環境作りができています。今後もご利用者のニーズに応えられるよう努めていきたい。
- 面会時は他の対応をしていて関わりが少ない面もあった。また、対応が決まった職員に偏っていたので担当の職員が関わるようにしたい。
- 〈安身〉初動の対応が遅く防ぐことのできた事故が数件あった。緊急性の高いものはユニット内で共有する。
〈感染〉連携・情報共有ができていないことが多く、褥瘡予防も意識の差がある。それぞれが意識を高め個々に合わせた対応をしたい。

- 〈レク〉積極的に委員会活動が行えていた。
- 委員会からの呼びかけもあり、節電等は意識できたが、備品の清掃は不十分だった。

「感染症対策委員会」

＜鷺山会感染症、食中毒の予防・蔓延防止に関する基本理念＞

1. 基本理念

- a. 社会福祉施設には、感染症等に対する抵抗力が弱い高齢者が生活する場であり、こうした高齢者が多数生活する環境は感染が広がりやすい状況である事を認識しなければならない。このような前提に立って施設では、感染症・食中毒を予防する体制を整備し、平素から対策を実施するとともに、感染予防、感染症発生時には多職種協働にて迅速かつ適切な対応に努める必要がある。

2. 感染症対策施設方針

- a. 倉敷シルバーセンターは、感染症・食中毒の発生、蔓延防止に取り組むにあたっての基本理念を理解し「感染症対策委員会」を設置、施設全体でこの事に取り組む事とする。

3. 委員会具体的方策

- a. 平常時には感染症対策委員会を1回/月開催し、委員会メンバーにて情報の共有を実施、委員会メンバーより担当部署職員へ情報の伝達と日々の対策を徹底する。
- b. 感染症対策標準予防策「スタンダード・プリコーション」を徹底すべく、2回/年、所内研修を実施する事で直接接遇職員の感染予防技術の底上げに努める。また、新人職員採用時は新人研修時に指導を行う。
- c. 嘱託医の指示に従い、感染警報発令時は職員出勤時の体調確認表を活用しウイルスを施設内に持ち込まないよう徹底する。
- d. 全職員を対象とした感染予防の勉強会を2回/年実施する。

＜評価＞

- 今年度も施設では感染者が発生したが、終息後には多職種で意見交換を行い、多角的に反省点や改善点を共有し、感染症マニュアルの見直しを行うことが出来た。
高齢者施設では感染や重症化のリスクが高まるが、知識や技術を含めた感染対策の徹底をしながら、面会によるご家族とのふれあいや外出や行事による気分転換を図りながら日々の楽しみを増やすことにも取り組んでいる。
毎月の委員会で感染症の動向や最新の情報を把握し、嘱託医や各職種と情報共有を行いながら発生時には迅速な対応につなげていきたい。今後は感染症との共生を意識した発信をしていきたい。

「安全対策委員会」

＜鷺山会介護事故防止のための基本理念＞

1. 基本理念

- a. 介護事故はちょっとした不注意で発生する。私達は介護・看護のプロとして介護事故を最小限に抑え、一度発生した介護事故は二度と起こさないようにしなければならない。
「ひやり・はっと報告書」「介護事故報告書」を分析する事で対処、研究を常に図り、ご利用者、ご家族に安心して施設をご利用いただけるよう細心の注意を払い、介護事故の減少に最大限の努力と対処を行う。

2. 安全対策施設方針

- a. 介護事故を防止に取り組むにあたっての基本理念を理解し「安全対策委員会」を設置、運営することで施設全体でこのことに取り組む事とする。
- b. リスクマネージャーを配置し館内の安全点検、ひやり・はっと、介護事故の発生傾向調査、発生防止のためのルールを遵守できているか否かの確認を行う事で、リスクマネジメントの取り組みを行う。

3. 委員会具体的方策

- a. 全職員を対象とした「介護事故防止」に関する研修会を2回/年、実施する。
- b. 新人職員採用時は新人研修時に「介護事故防止」に関する指導を行う。
- c. 介護事故を防止するため毎月1回以上「安全対策委員会」を開催し、介護事故の未然防止についての対策を講じる。
- d. 「なぜ事故を起こしたか?」という考えではなく「なぜ事故が起こったか?」という発想で考える。

＜評価＞

- 介護事故の件数が多かった。ご自分で動かれる方の事故に加え、動くことができないご利用者の介助中に起きたと思われる事故もあった。介護技術の見直しや安全に対する意識付けを強化したい。また、服薬忘れ等の内服関係の事故も多くマニュアルの整備とそれに沿った手順の徹底することで再発を防止したい。
- ノーリフティングの取り組みは定着しつつあるが、完全にノーリフティングに移行できていないため、活発な取り組みが継続して必要。ただ、ノーリフティングにとらわれるあまりご利用者や職員の負担になっては本末転倒となるため、状況に合わせた介助方法を検討したい

「身体拘束廃止委員会」

＜鷺山会身体拘束廃止のための基本理念＞

1. 基本理念

- a. 身体拘束は、ご利用者の生活の自由を制限することであり、ご利用者の尊厳ある生活を阻むものである。当法人ではご利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人一人が身体的、精神的弊害を理解し、身体拘束廃止に向けた意識を持ち、身体拘束をしないケアの実施に努める。

2. 身体拘束廃止施設方針

- a. 身体拘束の廃止に取り組むにあたっての理念を理解し「身体拘束廃止委員会」を設置・運営することで施設全体でこのことに取り組むこととする。
- b. 豊かで、安全、安心できる快適な生活を送れるために、ケア全体を見直し、緊急やむを得ない場合は適切な手続きのもと慎重に判断し身体拘束ゼロを目標とする。
- c. 施設広報誌に掲載し、情報開示に努める。

3. 委員会具体的方策

- a. 身体拘束を廃止、防止するため毎月1回「身体拘束廃止委員会」を開催し、身体拘束ゼロを目指す。
- b. 緊急やむを得ない判断は「施設長」の最終判断でのみ決定し、ご利用者本人、ご家族に大して詳細に説明し文章にて同意を得る。また、緊急やむを得ず身体拘束を行う場合でも、常に観察、再検討し、要件に該当しなくなった場合は直ちに拘束を解除する。
- c. 施設広報誌へ年1回以上、身体拘束廃止委員会の取り組み

＜評価＞

- 令和6年度は感染症対策のために2件の身体拘束を実施した。実施時の条件や経過、手続等を委員会内で改めて確認した。

「高齢者虐待防止委員会」

1. 基本理念

- a. 虐待は高齢者の尊厳の保持や、高齢者の人格の尊重に深刻な影響を及ぼす可能性が極めて高く、虐待の防止のために必要な措置を講じなければならない。
本事業所では、入居者への虐待は、人権侵害であり、犯罪行為であると認識し、高齢者虐待防止法に基づき、高齢者虐待の禁止、予防及び早期発見を徹底するため、指針を策定し、全ての職員は指針に従い、業務にあたることとする。

2. 高齢者虐待防止施設方針

- a. 虐待等の発生の防止等に取り組むにあたって「高齢者虐待防止委員会」を設置・運営することで施設全体でこのことに取り組むこととする。
- b. 事業所内における高齢者虐待は、外部から把握しにくいことが特徴であることを認識し、職員は日頃から虐待の早期発見に努めるとともに、高齢者虐待防止委員会及び担当者は職員に対し早期発見に努めるよう促す。

3. 委員会具体的方策

- a. 高齢者虐待を防止するため最低でも3か月毎に1回「高齢者虐待防止委員会」を開催し、高齢者虐待の防止・不適切ケアの早期発見に努める。
- b. 高齢者虐待防止に関する研修を年2回以上実施し、実施内容を記録する。また、新人職員採用時には研修を実施する。

<評価>

- 定期的に委員会と所内研修を実施した。虐待につながる行為として不適切なケア・虐待の芽についてのアンケートを定期的の実施し普段の利用者に対する職員各々の援助方法を振り返った。今後も虐待につながるような不適切なケアなどに気付いた際に報告や指摘ができるような風通しの良い職場環境づくりに努める。

<利用実績>

1) 介護老人福祉施設

	延入所者数	1日平均数	平均介護度	入院・外泊	退所者数	入所者数
4月	2,921	97.37	4.18	44	2	1
5月	3,047	98.29	4.17	26	1	2
6月	2,953	98.43	4.17	4	5	3
7月	2,974	95.94	4.10	60	2	4
8月	2,992	96.52	4.09	68	2	1
9月	2,921	97.37	4.09	46	0	1
10月	3,010	97.10	4.09	20	3	1
11月	2,963	98.77	4.10	19	1	4
12月	3,042	98.13	4.09	37	1	0
1月	2,975	95.57	4.09	69	3	1
2月	2,711	96.82	4.08	72	2	4
3月	3,007	97.00	4.09	48	3	1
平均(合計)	2960.0	97.31	4.11	42.8	(25)	(23)

- ショートステイとの実績とのバランスで入所受け入れに時間をかけることが多かったため目標値97.5名に届かず。今後は早目の受け入れに努めたい。

2) 短期入所生活介護

	延人数	1日平均数	平均介護度	送迎回数
4月	306	10.20	3.64	8
5月	354	11.42	3.69	11
6月	326	10.87	3.57	9
7月	336	10.84	3.66	11
8月	262	8.45	3.65	8
9月	273	9.10	3.48	14
10月	320	10.32	3.55	5
11月	301	10.03	3.64	10
12月	323	10.42	3.60	7
1月	326	10.52	3.69	7
2月	273	9.75	3.85	7
3月	347	11.19	4.01	7
平均	312.25	10.27	3.67	8.67

- 短期利用者1日平均利用人数10.27名。目標達成。入所目標97.5名/日は未達だったが短期入所との合計では目標値は達成。今後も緊急案件も含めて受け入れに努めたい

<年間行事・ボランティア受入実績>

	行事報告	ボランティア受入報告
4月	1.6.9日花見ドライブ 3日花見弁当 3日花見おやつ会 20日藤棚ドライブ 28日個別外出行事	
5月	8日藤棚ドライブ 15.16.21.22日ドライブ外出行事 10.26日個別外出行事 22日おやつ作り(フレンチトースト) 27日食フェス(お好み・もんじゃ焼き) 29日食フェス (BBQ)	
6月	5.11.14.19.22.28.29日個別外出行事 12日食フェス (もりそば) 19日あじさい見物外出 24日おやつ作り(バナナジュース) 26日食フェス (お好み・もんじゃ焼き)	

7月	納涼祭（クラスター発生により延期）	
8月	10日おやつ作り（かき氷） 28日物故者供養 28日花火	
9月	2日百寿記念式典 4日おやつ作り（アイスパフェ） 15日敬老会 26日花火	
10月	1日おやつ作り（おはぎ） 12.13日御神輿・だんじり 9日食フェス(天ぷらうどん) 19日おやつ作り（モンブラン） 23日秋祭り（納涼祭延期分込み）	
11月	5.7.23.25.28個別外出行事 6日焼き芋 13日食フェス（天丼） 13日テイクアウト行事 21日食フェス（寿司）	児島中学校職場体験
12月	4日鉄板焼き(肉) 16日個別外出行事 18日クリスマス会 19.20日柚子湯 25日餅つき	
1月	1日お屠蘇 2日おやつ作り（バナナジュース）	倉敷工業高校羊毛製品寄贈
2月	5日節分祭 12日おやつ作り(たこ焼き・明石焼き) 12日食フェス（海鮮丼）	
3月	4日おやつ作り（イチゴケーキ、フルーチェ） 5日ひな祭り 21日おやつ作り（フルーツサンド、ミックスジュース） 29.30日お花見	

<研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称	参加者
4月	所内研修：虐待防止研修	82名
5月		
6月	令和6年能登半島地震に係る介護職員等の応援派遣 川崎医療福祉大学現場実習担当者打ち合わせ会 令和6年度 岡山県老人福祉施設協議会 第1回総会	1名 1名 1名

7月	認知症介護実践リーダー研修 介護現場における認知症ケア研修会 令和6年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者 コース 児島神経疾患連携の会 令和6年度岡山医療福祉専門学校介護福祉学科就職説明会 所内研修：口腔ケア研修	1名 1名 2名 1名 3名 45名
8月	令和6年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員 コース	3名
9月	所内研修：感染症対策研修	38名
10月		
11月	高梁川流域合同企業説明会 令和6年度西日本認知症高齢者対策研修 川崎医療福祉大学ソーシャルワーク実習振り返りと意見交換 会 第2期team smile活動 Okayama 福祉・介護フェス 2024 運営サポート 令和6年度業務改善研修	2名 1名 1名 1名 1名
12月	令和6年度アセッサー講習	2名
1月	所内研修：口腔ケア研修 所内研修：職業倫理と法令順守	31名 29名
2月		
3月		

<実習生受入実績>

	学校名・受入人数	実習内容
4月	なし	
5月	なし	
6月	岡山医療福祉専門学校（2名） 岡山医療福祉専門学校（11名）	介護福祉士養成実習 施設見学実習
7月	岡山医療福祉専門学校（3名）	社会福祉主事任用資格実習
8月	岡山医療福祉専門学校（3名） 川崎医療福祉大学（1名）	社会福祉主事任用資格実習 社会福祉士養成実習
9月	川崎医療福祉大学（1名） 岡山医療福祉専門学校（2名）	社会福祉士養成実習 介護福祉士養成実習

10月	岡山医療福祉専門学校（2名）	介護福祉士養成実習
11月	岡山医療福祉専門学校（2名）	介護福祉士養成実習
12月	なし	
1月	なし	
2月	ウェル福祉学習センター（2名） 倉敷翔南高等学校（2名） 岡山医療福祉専門学校（1名）	介護福祉士養成実習 介護福祉士養成実習 社会福祉士養成実習
3月	岡山医療福祉専門学校（2名）	社会福祉主事任用資格実習

<職員採用・退職・異動実績>

	採用	異動	退職
4月	介護員1名：1日付	フロア内異動1名：1日付	
5月			介護員1名：25日付
6月	事務員1名：1日付け	居宅から異動1名：1日付	介護員3名：21日・30日付け
7月		通りハへ異動1名：1日付	
8月	介護員1名：1日付		相談員1名：31日付
9月			
10月			
11月			アルバイト介護員1名：30日付け
12月			事務員1名：30日付け
1月			介護員1名：31日付
2月	介護員2名：1日付		
3月			アルバイト介護員1名：16日付け 栄養士1名：31日付
合計	5名	3名	10名

シルバーデイサービスセンター 令和6年度事業報告書

＜基本理念＞

「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

「相談員」

＜行動理念1＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針
 - a. ご利用者のニーズとご家族のニーズを捉え、デイを含めた在宅生活を安心して過ごせるよう相談援助を行なう。
2. 具体的方針
 - a. 日々の関わりの中で、ご利用者の要望や不満、悩み事等何でも相談できる雰囲気を作る。
 - b. ご家族とケアマネージャーとの連携を深めることで家族とご利用者の課題の分析を行う。
 - c. 個別プログラムの充実（日々の個別・小グループでの作業レク、生活機能訓練、手芸、脳活等のメニューやレクリエーション及び館外機能訓練）を図り、利用者個人がサービス内容を選択・決定できる体制作り行なう。

＜行動理念2＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針
 - a. 家族や地域住民、介護保険事業者やインフォーマルサービスとの交流を深め、地域の方に信頼される施設を目指す。
2. 具体的方針
 - a. 積極的に地域コミュニティに参加し、デイサービスの事を知って頂けるよう広報する。
 - b. 毎月1回以上関係居宅を訪問し情報提供すると共に、ケアマネが持つ新規ニーズの吸い上げを行う。
 - c. 地域の方が気軽に訪問できるよう、環境面（施設周りの整備、花を植える等）を整えていく。
 - d. 家族との交流を密にして、ご利用者の自宅での様子など情報収集を行い、サービスの向上に活かす。

＜行動理念3＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針
 - a. 社内外研修（オンライン含む）の研修を通じて各職種の専門性を高める。
 - b. 職員間の情報共有と意思統一を徹底する
2. 具体的方針
 - a. 職員の介護技術・知識、接遇面の向上と仕事へのモチベーション維持の為の研修の開催、ご利用者の状態把握の為のミーティングを定期的に開催する。
 - b. 日々のミーティングだけでなく業務中の意見交換にて職員間で情報を共有をする。
 - c. 他事業所の相談員、介護支援専門員等と交流を持ち、必要に応じて情報交換を行う

＜行動理念4＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針
 - a. 「安定した経営」を念頭に置き、稼働率85.7%、平均要介護度1.76を目標とする。
 - b. コスト意識を高めるよう各職員への意識づけを行う。
 - c. 時間外で行っている業務を整理し分担することで、残業時間の削減に努める。
2. 具体的方針

- a. 施設サービスの充実と職員の個々の質を高め、現場職員と連携し在籍利用者の定着と新規利用者獲得を目指す。
- b. 施設備品の取り扱いを丁寧に行い、無駄な出費を防ぐ。
- c. 現場職員と連携し、相談員業務が業務時間帯に効率的に行えるようにし、無駄な残業を減らす。割り振りできる業務は他職員へ分担する。

<評価>

【相談員】

・ご利用者のニーズ・ご家族のニーズを的確に把握することが出来ており、安心して在宅生活が過ごせるように職員間で情報共有しサービスを提供することが出来ていた。日常的な相談や生活に必要な援助、他サービスへと繋げることは継続出来ている。

・地域との関わりや、ボランティアの受け入れといった外部との関わりにおいてはほとんど持てなかった。地域包括支援センターの職員や関係するケアマネージャーとの関り連携は密に行えており、地域の課題の把握はある程度出来ていた。

・研修はジョブメドレーアカデミーを活用し必要な研修を多数行えた。今後も定期的な研修を実施していきたい。

・年間、月間の目標値をやや下回ったまま通年を過ごした。新規の利用者は継続的に確保していたが、一昨年前の急激な利用者減少の時期の状態からなかなか回復に持って行く事が出来なかった。コスト意識は常に持ち、経費削減の意識を職員へ伝達し、実践させることが出来ている。無駄な経費を使わない様な働きかけを行い、全体としては適正に経費を使用した。

「看護師（機能訓練指導員）」

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針
 - a. ご利用者の病歴や内服の現状を把握し必要に応じて主治医の情報と指導を得て健康管理をする。
 - b. 思いやりのある優しい看護に努める。
 - c. ご利用者から頼られ信頼されるように接する。
2. 具体的方針
 - a. 日々のバイタルサインのチェックや状態変化の早期発見に努める為も、内服中の処方、病歴を家族やケアマネージャーに協力してもらい情報収集する。
 - b. 表情と挨拶に気を遣い、気持ちの良い関係の構築
 - c. 利用者のニーズを把握し、それに応じた個別の機能訓練を考案・実施する（マッサージ、赤外線、ホットパック、歩行訓練、自転車運動、生活動作訓練、筋力強化訓練等、手指訓練、プーリー、下肢筋力強化訓練、移乗訓練等）
 - d. 個別プログラムの充実（日々の個別・小グループでの作業レク、生活機能訓練、手芸、脳活等のメニューやレクリエーション及び館外機能訓練）を図り、利用者個人がサービス内容を選択・決定できる体制作り行なう。
 - e. 個別の機能訓練をPDCAサイクルにより継続的に改善する

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針
 - a. ご利用者の家族との情報、連絡を密にして信頼関係を築く
 - b. 他事業所との連携を密にする。
2. 具体的方針
 - a. 家族や近隣住民及び施設訪問者に対し、気持ちの良い挨拶、対応の実施。
 - b. 他事業所との連携を取り交流を図る。

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針
 - a. 社内外研修に参加し新しい知識・技術を身につける（録画、オンラインを含む）。
 - b. 職員間の情報共有を徹底し、率先して意見を出し合うよう会議の参加を促す。
2. 具体的方針
 - a. 医療知識の向上の為に研修に進んで参加する。（年に2回以上）
 - b. 職員やご利用者の健康管理における情報を発信し、職員間で共有する。

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針
 - a. 「安定した経営」を念頭に置く
 - b. 経費の削減に努める
2. 具体的方針
 - a. 顧客の体調変化に注意し、長期休みに繋がらないよう、必要に応じてアドバイスをする。
 - b. ご利用者の方で医療処置を必要とする方は自己準備をしていただけるように家族やケアマネージャーを通して協力して頂く。

<評価>

【看護師（機能訓練指導員）】

・顧客の現状を把握するよう、毎日のバイタルチェックや身体状況の把握に努めることできた。思いやりのある優しい看護も実践できている。ご利用者からの信頼も得られている。個別の機能訓練では個人のニーズに対応出来ており、必要な訓練を提案することができた。

・家族やケアマネに必要な情報提供を積極的に行うことが出来た。

・ジョブアカデミーを活用し多くの研修に参加する事が出来た。

・今年度もコスト意識を高く持ち無駄な経費をかけていない。今後も必要最低限の医療器具は購入する方針である。

「介護員」

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針
 - a. ご利用者一人一人に思いやりのある、安心できる介護を行う。
 - b. ご利用者の状態を把握し声かけの徹底と、一日充実して過ごせる工夫を考案する。
2. 具体的方法
 - a. お客様の言動に注意し笑顔で接し、思いやりの心で接する。また、相談事には話を傾聴し安心して過ごして頂く。
 - b. 個別プログラムの充実（日々の個別・小グループでの作業レク、生活機能訓練、手芸、脳活等のメニューやレクリエーション及び館外機能訓練）を図り、利用者個人がサービス内容を選択・決定できる体制作りと援助を行なう。

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針
 - a. 他職種間・地域住民との交流を持ち、情報交換を行い情報の共有をする。
2. 具体的方針
 - a. 家族や他施設関係者と連携をとり、また地域住民の与交流を図ることで信頼関係を築く。
 - b. 家族からの情報収集を行う。

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針
 - a. 新しい技術・知識の向上に努める

2. 具体的方針

- a. 社内研修や外部研修に積極的に参加し個人のスキルアップを図り、サービスの向上を目指す
- b. 他職種間において密接な関係を持ち、お客様にとって最善のおもてなしが出来るようにする。
- c. 社内研修に出来る限り参加をする（録画、オンラインを含む）。

<行動理念4>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針

- a. お客様のご利用の継続を念頭に置く
- b. 施設内の物品等の無駄使いをしない

2. 具体的方針

- a. 体調面における異常の早期発見にて、看護と協力しケア面・メンタル面が低下しないように、お客様の長期休みに繋がらないようにする。
- b. 施設サービスの充実と職員の個々の質を高め、在籍利用者の定着を目指す。
- c. 消耗品の浪費や節電を念頭に置く（エアコンの温度設定の適正。入浴時のシャワーを細めに止める。閉館後や使用しない電気の節電。ボイラー使用後の停止。朝・夕の館内整理整頓。）

<評価>

【介護員】

- ・安心して過ごす事が出来るようご利用者のニーズに合わせてサービス提供出来ていた。ご利用者の訴えに傾聴し、精神的なケアや身体面への細やかな気付きが早期の異常の発見に繋がっていた。
- ・地域との交流では接点が持てなかった。送迎時の利用者ご家族との情報交換は密に出来ていた。
- ・ジョブメドレーアカデミーを活用し多くの研修に参加することが出来、新たな知識の習得に繋がった。
- ・施設備品など無駄な購入がないよう大切に扱い、消耗品の使用方法においても注意を払い使用する事ができた。利用者の体調の変化は看護師と連携し早期発見し、長期の休みに繋がらないよう努めていた。

「感染症予防対策委員会」

<鷺山会感染症、食中毒の予防・蔓延防止に関する基本理念>

1. 基本理念

- a. 感染症等に対する抵抗力が弱い高齢者が利用する場であり、こうした高齢者が多数生活する環境は感染が広がりやすい状況である事を認識しなければならない。このような前提に立って施設では、感染症・食中毒を予防する体制を整備し、平素から対策を実施するとともに、感染予防、感染症発生時には多職種協働にて迅速かつ適切な対応に努める必要がある。

2. 感染症対策施設方針

- a. 感染症・食中毒の発生、蔓延防止に取り組むにあたっての基本理念を理解し「感染症対策委員会」を設置、施設全体でこの事に取り組む事とする。

3. 委員会具体的方策

- a. 感染対策委員会は平常時は1回/2ヶ月、感染症の発生時は随時、開催とする。
 - i. 委員会メンバーにて情報の共有を徹底する。
 - ii. 委員会メンバーより各部署へ情報の伝達と日々の対策を周知させる。
 - iii. 感染防止対策表を活用し時期に応じて対策をとる。
- b. 職員の感染に対する意識や技術の向上を図る
 - i. 感染症対策標準予防策「スタンダード・プリコーション」を徹底すべく、2回/年、所内研修を実施する事で直接処遇職員の感染予防技術の底上げに努める。

- ii. 感染予防に対する勉強会（研修・シュミレーション）を2回／年以上実施する。

＜評価＞

今年度より感染症予防対策を立ち上げ、手探りながらも感染症対策の中心として活動が出来た。定期的な対応の見直しを行い、感染症は発生するも早期に終息に繋げる事が出来ていた。終息後には多職種で意見交換を行い、多角的に反省点や改善点を共有した。毎月の委員会で感染症の動向や最新の情報を把握し、各職種と情報共有を行いながら発生時には迅速な対応につなげていきたい。今後はマニュアルの見直しを行っていきたい。

「高齢者虐待防止委員会」

1. 基本理念

- a. ご利用者の尊厳を保持するため、いかなる時もご利用者に対して虐待を行ってはならない。そのため、シルバーデイサービスセンターの基本的な考え方としてこの指針を定め、職員が高齢者虐待について理解し、虐待を未然に防ぐ方策を共有すると共に、虐待防止委員会を設置し、委員会メンバーを中心に多職種が連携してご利用者が安心して生活できる環境の整備を行う。

2. 虐待防止施設方針

- a. 高齢者虐待・不適切なケアの未然防止
- b. 虐待発生時の適切な対応
- c. 管理・監督職と職員が一体となって権利擁護や虐待防止の意識の醸成と認知症ケア等に対する理解を高める研修の実施・教育等の取組み

3. 委員会具体的方策

- a. 第三者委員などを導入することによる施設・事業所運営の透明化に関する取組み
- b. 職員のメンタルヘルスに関する組織的な取組み
- c. 指針およびマニュアルの定期的な見直しと周知
- d. 年2回、虐待に関する所内研修を開催する

＜評価＞

- 定期的に委員会と所内研修を実施した。虐待につながる行為として不適切なケアに対する研修を行い普段の利用者に対する職員各々の援助方法を振り返った。今後も虐待につながるような不適切なケアなどに気付いた際に報告や指摘ができるような風通しの良い職場環境づくりに努める。

＜利用実績＞

	開館日数	平均利用者	平均要介護度	稼働率(%)
4月	26	27.35名	1.94	78.0%
5月	27	27.70名	1.87	79.1%
6月	25	28.28名	1.86	80.8%
7月	27	27.19名	1.92	77.7%

8月	27	28.15名	1.91	80.5%
9月	25	28.44名	1.88	81.1%
10月	27	27.52名	1.91	78.5%
11月	26	28.92名	1.90	82.5%
12月	25	27.56名	1.87	78.8%
1月	24	28.79名	1.92	82.2%
2月	24	28.38名	1.74	81.1%
3月	26	28.85名	1.91	82.2%
合計 （令和6年度）実績	309	28.08名	1.90	80.2
（令和5年度）実績	309	29.79名	1.90	85.1%

〈評価〉 年度目標値として一日平均30.0名、介護度1.76を設定。

認知症高齢者、重度介護者等、施設方針に合わせたご利用者が多数ご利用になっている。今年度は年度当初より実績が伸び悩み、目標を下回りながらの通年を経過し、目標値には達する事はできなかった。しかし目標値を下回りながらも安定して新規の利用希望があり、地域から選ばれる施設となっている。利用者の退所が多くあったため入れ替わりが多い年であった。年度末より利用者の登録が劇的に増え、令和7年度には良いスタートが切れるような足固めは行うことが出来た。常に地域のニーズを拾うことが出来ているので、安定して新規の相談はあり、今後も現在の方針で営業を続けていく。

<主な業務日課>

時間	日課
8：00	朝のミーティング、送迎、館内外清掃、利用者受け入れ準備、入浴準備
9：00	手指消毒、お茶配布、バイタルチェック、昼食確認、トイレ誘導
10：00	入浴誘導、着脱介助、入浴（普通浴・リフト浴）介助、水分補給、物理療法、個別機能訓練、個別作業、脳トレ、手芸教室
11：45	手指消毒、昼食準備、テーブル拭き、嚥下体操、お茶配布、配膳準備
12：00	昼食配膳、食事介助、服薬確認、トイレ誘導、口腔ケア
13：00	集団体操、個別作業、個別機能訓練、季節行事 オンラインヨガ（月曜日：月2回） フラワーアレンジメント教室（月2回）
14：00	レクリエーション、個別作業、個別機能訓練、季節行事、おやつ配布準備 ほのぼのNEXT（介護・看護記録入力）

15:00	おやつ配布、排泄介助
15:15	今月の歌、帰りの体操
15:30	送迎開始、最終送迎16:00頃
16:00	掃除、翌日準備
16:45	ミーティング・カンファレンス
17:00	終業

<年間行事・ボランティア受入実績>

	行事報告	ボランティア受入報告
4月	花見ドライブ 25日駄菓子屋イベント 変わり風呂（桜）	
5月	6日-11日端午の節句イベント 変わり風呂（菖蒲湯）	
6月	11日バーベキュー大会 変わり風呂（ラベンダー風呂）	
7月	9日食事会（ざるそうめん） 24日ソフトクリーム、うなぎ 変わり風呂（森林浴風呂）	
8月	8日夏祭り 変わり風呂（レモン風呂）	
9月	16日敬老会 変わり風呂（りんご風呂）	
10月	変わり風呂（ぶどう風呂） 14日運動会	
11月	変わり風呂（お楽しみ風呂）	
12月	24日クリスマス会 28日もちつき 25日-門松作り 変わり風呂（柚子風呂）	
1月	15日新年会 変わり風呂（温泉巡り風呂）	
2月	3日節分祭 変わり風呂（桃風呂）	

3月	3日-8日ひな巡り 変わり風呂（桜風呂）	
----	-------------------------	--

<毎月定期の行事>

誕生日会（利用者の誕生日毎に実施）

オンラインヨガ：月2回（月曜日） 手芸教室：木曜日

フラワーアレンジメント教室（月2回、不定期）

<研修・会議・訓練等参加実績>

	研修・会議の名称	参加者
4月		
5月	身体拘束排除、高齢者虐待防止の取組について	13名
6月	事故発生又は再発防止について	13名
7月		
8月	認知症に関する研修	13名
9月	感染症対策研修 BCP研修 令和6年度安全運転管理者講習会	13名 13名 1名
10月	ターミナルケアに関する研修	13名
11月	服薬介助研修 第22回日本通所ケア研究大会 防災訓練	13名 1名 8名
12月		
1月	職業倫理と法令順守 口腔ケア研修	13名 13名
2月	身体拘束排除、高齢者虐待防止の取組について 感染症に係るBCP訓練	13名 13名
3月	介護保険サービス事業者集団指導 感染症に係るBCP研修 自然災害に係るBCP訓練 防災訓練	1名 13名 13名 8名

毎月第3金曜：行事ミーティング・業務改善会議

毎月最終木曜：デイサービス全体会議（書面）

＜実習生受入実績＞

	学校名・受入人数	実習内容
4月		
5月	岡山医療専門学校2年生（2名）	介護実習
6月	岡山医療専門学校1年生	施設見学
7月		
8月	岡山医療福祉専門学校（1名） 川崎医療福祉大学（1名）	ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習
9月		
10月	児島中学校1年生	介護体験
11月	児島中学校1年生	介護体験
12月	児島中学校1年生	介護体験
1月		
2月	翔南高校(2名) ウェル福祉学習センター（2名）	介護実習 介護実習
3月		

＜職員採用・退職・異動実績＞

	採用	異動	退職
月			
合計	0名	0名	0名

シルバー在宅介護支援センター 令和6年度事業報告書

<基本理念>

「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- あいさつや態度に気をつけ、笑顔で優しい声かけを心がける。
- しっかり傾聴し思いを受け止め、不安な気持ちを軽減できるように心がける。
- アセスメントを行い、本人家族に合った在宅生活の提案を行い、速やかに対応する。

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 地域包括支援センターと連携し、地域からの相談に速やかに対応する。
- スムーズな利用者支援の為、地域の医療福祉事業所との顔の見える関係をつくる。
- インフォーマルな社会資源の収集に努め、利用者支援に活用する。
- 安全運転を心掛ける。

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- ケアマネ交流会や研修などに参加して多職種間での情報交換を行い自らの知識の習得に努める。
- 居宅会議や朝礼で情報の共有、検討を行い、プランに生かす。
- 報告や情報提供を受け、円滑に連絡、相談をし適切な支援や連携を図る。
- 利用者、家族、他事業所の職員に不快な思いを抱かせないように接遇マナーを意識し行動する。

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 他部署との連携を図り、鷺山会全体の業績アップを目指す。
- 備品を丁寧に扱い、消耗品の節約をし、無駄な出費にならないよう心がける。
- 身の回り業務内容の整理整頓を行い時間を有効活用する。
- 医療連携を積極的に行い、加算に繋げる。

<評価>

- 挨拶や言葉遣いに気を付け、相手に不安や不快を感じられないように心掛け、傾聴し相談していただける関係づくりが行えた。
- 地域住民や、他事業所、病院等と連携を行い、速やかに新規利用者の受け入れやサービス提供を行うことが出来た。
- 事業所内で研修報告や情報共有、事例検討ができ、個々のスキルアップに努めてきた。
- 法人内での役割を理解し他部署や医療機関、事業所と連携を図る事が出来た。

<利用実績>

月	給付管理 実績件数	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	稼働率
4月	168	35	70	50	32	14	2	92.7%
5月	159	36	66	44	33	13	3	90%
6月	154	29	63	45	32	11	3	82.3%

7月	146	3	59	44	30	11	2	95.4%
8月	136	1	56	41	27	10	2	91.2%
9月	133	3	55	42	24	11	1	89.9%
10月	100	4	41	27	20	11	1	67.8%
11月	94	5	38	26	18	10	2	61.8%
12月	97	7	40	27	18	10	2	65.1%
1月	101	7	42	29	19	9	2	69.1%
2月	102	7	42	31	17	8	4	69.8%
3月	105	6	44	33	16	8	4	71.8%
5年度平均	160.8	28.5	64	59.4	24.1	9	4.3	100%
6年度平均	124.5	11.9	51.3	36.5	23.8	11.2	2.3	78.9%

<評価>

人員の増減が激しく、令和6年8月より特定事業所加算を取得した為実績件数は前年度を下回っているが維持できている。次年度も行動理念を念頭に、安定した実績の確保や目標の達成に努めていきたい。

<研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称	参加者
4月	居宅会議	5名
5月	居宅会議 児島地区ケアマネ交流研修会	5名 2名
6月	居宅会議	5名
7月	居宅会議	4名
8月	居宅会議 児島地区ケアマネ交流研修会	4名 2名
9月	居宅会議	4名
10月	居宅会議	3名

	児島地区ケアマネ交流研修会	2名
11月	居宅会議 児島地区ケアマネ交流研修会	3名 2名
12月	居宅会議	5名
1月	居宅会議	4名
2月	居宅会議	4名
3月	居宅会議 介護支援専門員実務研修受け入れ	4名 1名

＜職員採用・退職・異動実績＞

令和6年 5月31日 常勤選任 1名 倉敷シルバーセンターへ異動
 令和6年 6月 1日 非常勤選任 1名 倉敷シルバーセンターより兼務として異動
 令和6年 6月30日 常勤選任 1名 退職
 令和6年 10月30日 常勤選任 1名 退職
 令和6年 11月 1日 常勤選任 1名 岡山シルバー在宅介護支援センターより異動
 令和6年 12月 1日 常勤選任 1名 入職

倉敷市児島中部高齢者支援センター 令和6度事業報告書

<基本理念>

「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- あいさつや態度に気をつけ、笑顔でやさしい声かけを心がける。
- しっかり傾聴し思いを受け止め、不安な気持ちを軽減できるように心がける。
- アセスメントを行い、本人家族に合った在宅生活の提案を行い、速やかに対応する。
- 職員間の情報交換を密に行い、より良いサービスを提案する。

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 地域の方との交流を図り信頼関係を深める。
- 地域課題を把握し、解決に向けて地域の方と一緒に考え活動する。
- 教室開催、サロン活動の支援を行い地域の方の健康増進に努める。

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 各自、目標を持ち、進んで研修に参加する。
- 日々の活動の中で、状況把握と自ら考え判断し行動する。
- 常に情報交換を行い、新しく活用できる内容は、積極的に取り入れる。

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- センター内で、日々の業務量を調整し、時間を有効活用する。
- 消耗品の節約、備品を大切に適切に使用し無駄遣いを無くす。
- 新規実態把握調査を行い問題の早期発見と対応に努める。

<評価>

- 積極的に地域住民との関わりを持つことで、各地域の課題を見つけ、住民と共に解決に向けての活動を行うことができた。
- 各自が 個人目標達成に向けて研修参加や、個別ケースを積極的に担当する等でスキルアップに努めることができた。
- 新規実態把握調査を積極的に行い、問題の早期発見、早期からの関わりを持ち対応することができた。専門職との連携を行い多職種連携も行えた。

<予防プラン実績>

	新規	再委託	合計
令和6年4月	14	89	285
5月	5	91	288
6月	6	86	288
7月	11	62	295
8月	5	60	287

9月	15	62	295
10月	8	68	299
11月	8	72	297
12月	7	78	301
1月	6	78	289
2月	12	69	288
3月	8	64	292
合計	105	879	3504

<評価>

- 圏域内の高齢者人口も増加傾向となっており、介護保険サービスの利用を希望される方が増えている。また、独居高齢者も増えており、介入時には多職種連携が必須になるケースも多い。ご利用者のご家族の希望に寄り添えるように、スピーディーで丁寧な対応を心掛けている。

<研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称
4月	3日(水)10:00～ 児島集会所:家族介護教室 11日(木)10:00～ サロン中山:家族介護教室 12日(金)15:30～ 民事協理事会挨拶:児島支所3階 16日(火)10:00～ センター代表者会議:本庁 16日(火)13:30～ 児島小学校区小地域ケア会議準備会 17日(水)10:00～ サロンヤマボウシ:転倒骨折予防教室① 18日(木)14:00～ 緑丘小学校区小地域ケア会議 19日(金)13:30～ 児島地区職員連絡会 25日(木)11:00～ 市営中山団地:栄養改善教室 25日(木)13:30～ 権利擁護ネットワーク会議 29日(月)AM 池尻を考える会主催交流会
5月	2日(木)13:30～小地域ケア会議団体交流会:本庁10階大会議室 9日(木)10:00～ ぽっかぽか:栄養改善教室 10日(金)14:00～ ケアマネ交流会 15:15までに行けば挨拶に間に合う 10日(金)14:00～ 中山愛育委員会定例会:県営中山集会所 11日(土)10:00～ 美野・新美野認知症サポーター養成講座 15日(水)10:00～ ヤマボウシ:転倒骨折予防教室② 16日(木)14:00～ 緑丘小学校区小地域ケア会議準備会 17日(金)13:30～ 児島地区職員連絡会 17日(金) 琴浦西小学校区なんでも相談会 & 自治会長挨拶周り話し合い 20日(月)11:00～ お花サロン:栄養改善教室 21日(火)10:00～ 高齢者支援センター総会:プラザホール

	21日(火)13:30～ 児島小学校区小地域ケア会議 22日(水)14:00～ 中の谷:家族介護教室 23日(木)10:00～ 市営中山:家族介護教室 23日(木)10:00～ 新児島団地 23日(木)PM 権利擁護ネットワーク会議 28日(火)13:30～ GHたじま・あけぼの運営推進会議 30日(木)10:00～ 天王老人会:家族介護教室
6月	3日(月)11:00～ 7月どんぐりの会教室打ち合わせ:吉塔寺 4日(火)14:10～ 期首面談:Zoom 5日(水)10:00～ 児島集会所:介護予防運動 5日(水)14:00～ 倉敷翔南高校認サポ打ち合わせ:来所 6日(木)14:00～ 市営中山:健康長寿教室 7日(金)14:00～ 困難事例検討会議 11日(火)10:00～ 久保公会堂:家族介護教室 12日(水)10:00～ のぞみクラブ:家族介護教室 12日(水)10:30～ ゆずり葉の会総会 13日(木)13:30～ 児島地区地域ケア会議 18日(火)10:00～ 市民病院移動相談会 18日(火)13:30～ 児島小学校区小地域ケア会議準備会 19日(水)10:00～ 小規模多機能ホームだんらん運営推進会議 19日(水)10:00～ サロンヤマボウシ:転倒骨折予防教室③ 20日(木)14:00～ 緑丘小学校区小地域ケア会議 21日(金)13:30～ 児島地区職員連絡会 21日(金)地区会後 琴浦西小なんでも相談会打ち合わせ:児島支所202会議室 24日(月)支援協総会セミナー 27日(木)10:00～ 市営中山:健康長寿教室 27日(木)10:00～ 保看部会:児島保健推進室との交流 27日(木)13:30～ 権利擁護ネットワーク会議 28日(金)AM、PM 岡山医療福祉専門学校施設見学実習対応
7月	1日(月)11:00～ どんぐりの会:栄養改善教室 2日(火)13:30～ 地域ケア個別会議 3日(水)10:00～ 児島集会所:介護予防(口腔) 5日(金)15:00～(6校時目) 翔南高校認知症サポーター養成講座 9日(火)10:40～(集合10:20) 児島中学校高齢者疑似体験&車いす体験説明会 9日(火)PM(5、6校時) 翔南高校認知症サポーター養成講座 11日(木)13:30～ 児島中学校高齢者疑似体験&車いす体験 12日(金)13:00～ 児島地区CM交流研修会「OGSV」:児島支所 12日(金)13:30～ 児島中学校認知症サポーター養成講座 15日(月)18:30～ 稗田夏祭り 16日(火)10:00～ 児島中学校区民生委員会:マリンプール 16日(火)13:30～ 児島小学校区小地域ケア会議 18日(木)14:00～ 緑丘小学校区小地域ケア会議準備会 18日(木)14:00～ 笑遊会家族介護教室 19日(金)13:30～ 児島地区職員連絡会 23日(火)10:00～ 小川中公会堂:家族介護教室

	25日(木)10:00～ 市営中山:転倒骨折予防教室① 25日(木)13:30～ 権利擁護ネットワーク会議:健康福祉プラザ 26日(金)18:00～ 琴浦西小なんでも相談会:琴浦公民館 30日(火)13:30～ GHたじま・あけぼの運営推進会議 31日(水)13:30～ 全体研修:ライフパーク
8月	3日(土)夕方 稗田祭り 5日(月)11:00～ K様ケース会議7日(水)10:00～ 児島集会所:介護予防(栄養) 16日(金)13:30～ 児島地区職員連絡会 20日(火)13:30～ 児島小学校区小地域ケア会議準備会 21日(水)10:00～ だんらん運営推進会議 21日(水)16:50～ かいごサポート運営推進会議 22日(木)10:00～ 市営中山:転倒骨折予防教室② 22日(木)13:30～ 権利擁護ネットワーク会議:健康福祉プラザ 22日(木)14:00～ 緑丘小学校区小地域ケア会議 24日(土)8:30～ 児島小学校区三世代交流会:児島小学校 26日(月)10:00～ ガーデンタウン児島スマイル:家族介護教室 28日(水)13:30～ サロン交流会:児島支所 28日(水)13:30～ 健康まつり実行委員会 29日(木)重層的支援体制整備事業 各論的研修A 29日(木)14:00～15:30 児島地区ケアマネ交流研修会 30日(金)重層的支援体制整備事業 各論的研修A
9月	4日(水)10:00～ 児島集会所:健康長寿 7日(土)9:30～(8時半集合) 児島地区健康祭り 12日(木)10:00～ サロン中山:健康長寿 12日(木)13:30～ 児島地区地域ケア会議 13日(金)13:30～ 緑丘愛育委員会定例会 17日(火)13:30～ 児島小学校区小地域ケア会議 20日(金)13:30～ 児島地区職員連絡会 24日(火)12:30～ 緑丘ミニ健康展 25日(水)14:00～ 中の谷:介護予防(運動) 25日(水)全体研修「精神障害者の制度について」 26日(木)10:00～ 市営中山:転倒骨折予防教室③ 26日(木)13:30～ 権利擁護ネットワーク会議:玉島支所 27日(金)10:00～ すがの電器:家族介護教室防災 27日(金)13:30～ センター代表者会議 ◎実習生関連 19日(木)岡山医療福祉専門学校:SW実習終了予定日

10月	2日(水)児島集会所:転倒骨折予防教室① 7日(月) 13:30～重層的支援体制整備事業 各論的研修B 8日(火)13:30～重層的支援体制整備事業 各論的研修B 9日(水)9時半集合 10:00～13:00 上の町ミニ健康展 11日(金)10:00～12:00 児島ミニ健康展 15日(火)13:30～ 児島小学校区小地域ケア会議準備会 16日(水)10:00～ だんらん運営推進会議 16日(水)10:00～ 帆の谷:家族介護教室 17日(木)14:00～ 緑丘小学校区小地域ケア会議 18日(金)13:30～ 児島地区職員連絡会 23日(水)14:00～ 中の谷:健康長寿教室 24日(木)10:00～ 市営中山:教室 24日(木)13:30～ 権利擁護ネットワーク会議 25日(火)ハローズ移動相談会 26日(土)はばたきふれあい祭り
11月	1日(金)14:00～15:30児島地区ケアマネ交流研修会「権利擁護」 2日(土)10:40集合 高齢者の集い:小川中公会 6日(水)児島集会所:転倒骨折予防教室② 6日(水)14:00～ 初期集中支援チームとの情報交換会:ライフパーク倉敷 7日(木)10:45～ 令和6年度高齢者支援センター巡回訪問 9日(土) 受付8:30～9:00稗田健康ウォーク 12日(火)13:30～ たじま・あけぼの運営推進会議 17日(日)児島健康ウォーク 19日(火)13:30～ 児島小学校区小地域ケア会議 20日(水)10:00～ 児島地区職員連絡会※クロスプラン会議説明 21日(木)14:00～ 緑丘小学校区小地域ケア会議準備会 21日(木)13:30～ 心の健康づくり講座:児島支所2階大会議室 21日(木)14:00～ サロン笑遊会:健康長寿教室 26日(火)児島地区民生委員会:マリンプール 28日(木)10:00～ 市営中山:介護予防口腔 28日(木)13:30～ 権利擁護ネットワーク会議 29日(金)13:30～ 全体研修「家族システム論」:健康福祉プラザ
12月	2日(月)13:30～滑公会堂:家族介護教室 4日(水)児島集会所:転倒骨折予防教室③ 5日(水)10:00～ ぽっかぽか:家族介護教室 11日(水) 10:00～ のぞみクラブ:健康長寿教室 12日(木)9:25集合 緑丘小学校認知症サポーター養成講座 17日(火)13:30～ 児島小学校区小地域ケア会議準備会 19日(木)10:00～ サロン中山:栄養改善教室 19日(木)13:30～ 児島地区地域ケア会議 19日(木)14:00～ 緑丘小学校区小地域ケア会議 20日(水)13:30～ 児島地区職員連絡会 20日(金)地区会後 なんでも相談会打ち合わせ 26日(木)権利擁護ネットワーク会議

1月	14日(火)13:30～ 地域ケア個別会議 15日(水)9:35～ 児島小学校認知症サポーター養成講座 16日(木)14:00～ 緑丘小学校区小地域ケア会議準備会 17日(金)10:00～ 緑丘コミュニティー: 家族介護教室 栄養 17日(金)13:30～ 児島地区職員連絡会 21日(火)13:30～ 児島小学校区小地域ケア会議 21日(火)16:50～ 介護さぽーと運営推進会議 23日(木)10:00～ 市営中山: 介護予防(栄養) 23日(木)13:30～ 権利擁護ネットワーク会議 24日(金)全体研修 28日(火)13:30～ たじま・あけぼの運営推進会議 30日(木)13:30～ 健康づくりを考える会
2月	3日(月)13:00～ どんぐりの会(家族介護) 4日(火)13:30～15:30 住民福祉談笑会・児島支所2階大会議室 5日(水)10:00～ 児島集会所 7日(金)13:30～ 児島愛育委員会 ACPの話 7日(金)13:30～ 緑丘愛育委員会 9日(日)8:00～ 防災講演会 10日(水)10:00～ ガーデンタウン(健康長寿) 12日(水)9:30～ 上の町愛育委員会 14日(金)11:00～ 社会福祉士実習生面談 18日(火)13:30～ 児島小学校区小地域ケア会議準備会 20日(木)14:00～ 緑丘小学校区小地域ケア会議 20日(木)10:30～ ゆずり葉の会 21日(金)13:30～ 児島地区職員連絡会 27日(木)10:00～ 市営中山: 介護予防(運動) 27日(木)13:30～ 権利擁護ネットワーク会議 28日(金)14:00～ ソーシャルワーク演習 実習指導者 オンライン交流会 28日(金)18:00～ 民生委員となんでも相談会
3月	5日(水)10:00～ 児島集会所 5日(水)10:00～ だんらん運営推進会議 6日(木)14:00～ 緑丘小学校区小地域ケア会議準備会 7日(金)9:00～ 令和6年度期末面談(年度評価) 8日(土)10:00～ マリン地区社協～終活セミナー～ 13日(木)13:30～ 地域ケア会議交流会 中山体育館 14日(金)10:00～ 支援協 17日(月)～ 集団指導 18日(火)13:30～ 児島小学校区小地域ケア会議 21日(金)13:30～ 児島地区職員連絡会 21日(金)15:00～ なんでも相談会反省会 25日(火)13:30～ たじまあけぼの運営推進会議 27日(木)10:00～ 市営中山: 介護予防 27日(木)13:30～ 権利擁護ネットワーク会議

毎月第3水曜日PM・・・主任ケアマネ部会

毎月第4火曜日AM・・・保健師部会

毎月第4火曜日PM・・・社会福祉士部会

毎月第3金曜日PM・・・児島地区職員連絡会～小地域ケア会議情報交換会

<職員採用・退職・異動実績>

	採用	異動	退職
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			社会福祉士1名
1月		社会福祉士1名	
2月			
3月			
合計	0名	1名	1名

＜基本理念＞

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

- a. 親しみを持ち、ご利用者同士のマナーを守って頂く声掛けをする。(継続)
- b. 防災訓練を定期的に行い、ご利用者の防災意識を高める。(継続)
- c. ご利用者様へ指摘をする際には、不快な思いをさせないような口調を心掛ける(新規)

- a. ご利用者の通院、買い物等の支援を行い、地域社会との交流の場を確保する。(継続)
- b. 来所者へ気持ちの良い挨拶、迅速な対応をし、良い関係を作る(継続)
- c. 外出行事やボランティアの受け入れを積極的に行っていく(新規)

a. 勉強会や研修への参加率を上げて、ケアハウスの質の向上に努めます（新規）
b. 平日は毎朝ミーティングを行い、職員間で情報共有し、迅速な対応をする（継続）

- a. 受傷事故防止に配慮した施設改善を行い、より良い館内を作る(継続)
- b. 消耗品の発注先を検討し、出来るだけ一括で購入する(継続)
- c. 施設設備の異常の早期発見、早期メンテナンスを行う。(継続)

- 声掛けは出来ていたが、忙しくなると少し、粗雑になることがあった。
- 防災訓練に関しては、特養と合同でできたが、部署内の訓練も必要と感じた。
- コロナ禍以降、継続していた面会制限の撤廃、エアロビ教室や外出行事の復活で、地域交流の機会が増加した。
- 買い物に関しては、回数を増加させ、ほぼ毎週実施し、利用者様に喜ばれている。
- 全員が勉強会や研修に参加できていなかった。
- 毎朝、ミーティングは実施できており、情報共有は十分に実施できていた。
- コスト意識を持ち、経費の削減はある程度できていた。
- 危険個所に関しては、修理や改善など、即時対応が出来た。

[illegible]

7										1	1	1
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
合計	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
平均	1.9	1.9	1.9	1.9	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1

<評価>

- ・年間を通じて、稼働率100%であり、十分に稼働できていた。

<年間行事・ボランティア受入実績>

	行事報告	ボランティア受入報告
4月	04日お花見弁当（ケアハウステラス） お花見ドライブ 12日おやつ作り（桜餅） 18日食事フェスタ（手巻き寿司）	第2、第3水曜日エアロビ教室
5月	03日おやつ作り（柏餅） 09日外出行事(割烹かなた) 23日食事フェスタ（カレーフェア）	第2、第3水曜日エアロビ教室
6月	06日テイクアウト祭 14日おやつ作り(ベビーカステラ) 27日食事フェスタ(そば打ち)	第2、第3水曜日エアロビ教室
7月	04日外出行事(くりはら) 05日七夕会 19日おやつ作り(ところてん) 25日食事フェスタ(韓国フェア)	第2、第3水曜日エアロビ教室
8月	15日テイクアウト祭 16日おやつ作り(アイスクリーム) 22日食事フェスタ(北海道フェア)	第2、第3水曜日エアロビ教室

9月	06日おやつ作り（月見団子） 10日花火大会 15日周年記念敬老会 19日食事フェスタ（パン祭り）	第2、第3水曜日エアロビ教室
10月	04日おやつ作り(たこ焼き) 10日日帰り旅行(姫路セントラルパーク) 17日食事フェスタ(ご飯祭り)	第2、第3水曜日エアロビ教室
11月	01日おやつ作り(サンドイッチ) 14日食事フェスタ(寿司祭り) 28日外出行事（甲羅倉敷本店） 28日紅葉ドライブ	第2、第3水曜日エアロビ教室
12月	06日おやつ作り(ミルクレープ) 20日柚子湯 26日食事フェスタ(忘年会) 27日クリスマス会 30日生け花 30日餅つき	第2、第3水曜日エアロビ教室
1月	01日お屠蘇 10日おやつ作り(ぜんざい) 18日食事フェスタ(サムゲタン) 22日初詣（由加山） 23日初詣（由加山）	第2、第3水曜日エアロビ教室
2月	03日節分祭 07日おやつ作り(チョコレートケーキ) 13日外出行事(レストラン みよしの) 27日食事フェスタ(たらちり鍋)	第2、第3水曜日エアロビ教室
3月	03日雛祭り 07日おやつ作り(豚まん) 13日外出行事（あずまや） 20日食事フェスタ(すき焼き)	第2、第3水曜日エアロビ教室

<研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称	参加者氏名
4月		
5月		
6月		
7月	所内研修「感染症と食中毒について」	1名
8月	所外研修「中国地区老施協研修大会」 所内研修「床ずれとポジショニングについて」	1名 1名

9月		
10月	所外研修「倉敷市内軽費老人ホーム施設長会」	1名
11月	所内研修「認知症の理解とケアについて」 所内研修「感染症と食中毒について」	3名 1名
12月		
1月	法人研修「職業倫理と法令遵守について」 所外研修「認知症ケア実践者研修」	1名 1名
2月	所外研修「高齢者虐待防止研修」 所外研修「老施協／軽費ケアハウス部会】事例発表・意見交換会」 所外研修「岡山県老施協研修」	1名 1名 1名
3月		

＜職員採用・退職・異動実績＞

	採用	異動	退職
月			
合計	0名	0名	0名

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 鷺山会

- 介護老人保健施設
倉敷シルバーナーシングホーム
- 通所リハビリ
倉敷シルバーナーシングホーム・デイケア

介護老人保健施設 倉敷シルバーナーシングホーム 令和6年度事業報告書

＜基本理念＞

「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

「相談員」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針

- a. 利用者が、安心して、安全に過ごすことのできる施設運営を行う。
- b. ご利用者、ご家族の満足度を高める。

2. 具体的方針

- a. 利用者、ご家族、職員をつなぐ役割として、情報収集、情報提供、情報共有に努める。
- b. 利用者の状態、ご家族の状況等を踏まえ、在宅復帰の検討を行う。
- c. 困難事例にアプローチできるよう、社会資源との連携、外部研修への参加等を通じて、支援相談員としての専門性を高める。

＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針

- a. 地域から信頼される施設運営を行う。
- b. 地域の福祉ニーズの発掘に努める。

2. 具体的方針

- a. 相談者が魅力を感じ、積極的に施設へ足を運んでもらえるよう、近隣医療機関、居宅支援事業所等に対して、定期業務として、広報活動を行う。
- b. 定期的に、地域サロンを開催し、地域住民との交流を通じて、潜在的な福祉ニーズの発掘に努める。

＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針

- a. 所内研修、外部研修、委員会活動等を通じて、各職種の専門性を向上させる。
- b. 多職種間の連携を促進し、各部署の潜在能力を最大限に引き出す。

2. 具体的方針

- a. 委員が主体となって、委員会を運営できるよう、研修の提案、制度の確認等、後方支援を行う。
- b. 多職種間での意見交換が活発に行われるよう、各種会議において、各職種の専門性が交わるような働きかけを行う。

＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針

- a. 効果、効率を考えた施設運営を行い、自らの努力で経営の健全化を図る。
- b. 時間外で行っている業務を整理し、残業時間の削減に努める。

2. 具体的方策

- a. 近隣医療機関、居宅支援事業所等への訪問、空室情報の提供を、定期的に行い、新規入所希望者の確保、稼働率の安定に努める。
- b. 法人内の居宅事業所、通所事業所、軽費老人ホーム等と密に連携を行い、在宅復帰支援態勢の強化を図る。
- c. 相談員間の情報共有をこまめに行い、効率的に業務を分担することで、時間外業務を減らし、残業時間の削減に努める。

＜評価＞

【相談員】

- 協力医療機関、地域のケアマネジャーとのコミュニケーションを積極的に継続してきたことで新規利用者の紹介や入退院時の調整をスムーズに行うことが出来た。また在宅復帰目的の利用者の紹介も安定してきたことで、ベッド回転率・在宅復帰率も高値で維持できる期間が増えている。従来型では加算型の維持、ユニット型では強化型・超強化型に上げることが出来、取り組みの成果が出ている。地域貢献活動では新児島団地自治会館でのカフェの開催が延期・中止等により予定した回数を開催することが出来ていないため、7年度では定期的に開催し今後も地域のニーズに沿った施設運営が行えるように取り組みをしていきたい。

「事務員」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します

1. 部署別方針
 - a. 対話、挨拶を大切にする。
2. 具体的方策
 - a. 利用者、家族への明るい挨拶を心がける。

＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針
 - a. 適切な対応。
2. 具体的方策
 - a. 身だしなみや言葉使いに注意し、姿勢を正すことを心がける。

＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針
 - a. 公正性の確保と適正な処理。
2. 具体的方策
 - a. 予算管理及び収支状況を把握し、適切な業務処理を実施する。

＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針
 - a. 適切な判断。
2. 具体的方策
 - a. 知識・経験・分析から、その選択に関わる情報を多く集め判断する。

＜評価＞

【事務員】

- 常にコスト意識を持ち取り組むことが出来た。引き続き、継続していく。
- 挨拶については意識し取り組んでいるが、気を抜いている時、業務に集中している時に出来ていないことがあるため気を付けて行きたい。

「管理栄養士」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針
 - a. 安心安全な美味しい食事を提供する。
 - b. 楽しめる食事を提供する。
2. 具体的方策
 - a. 食事時、おやつ時、また、その他の時間帯に積極的にフロアに行き、利用者様とコミュニケーションをとる。そこで得た意見を食事に反映する。
 - b. 利用者の楽しめる行事やおやつを提供する。

＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針

- a. 他部署との連携を図り、利用者様に喜んでいただける食事サービスを提供する。
- 2. 具体的方策
 - a. 委託業者との連携を密に行い、利用者様に安心して喜んでいただける食事の提供を行う。
 - b. 在宅高齢者の栄養状態を把握し、栄養改善に繋げる。
 - c. 他部署と連携を図り、より良い食事を提供する。

＜行動理念3＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 1. 部署別方針
 - a. 情報収集を行う。
- 2. 具体的方策
 - a. 研修や学会などで得た知識を施設職員へ伝達する。

＜行動理念4＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 1. 部署別方針
 - a. 物品の節約に努める。
- 2. 具体的方策
 - a. こまめに価格調査を行い無駄のない購入を行う。

＜評価＞

【栄養士】

- フロアに出向くことはますますできた。行事やおやつはもっと利用者様に参加していただけるよう考えて行きたいと思う。リハビリ職員と協力して在宅に帰られる方の家事（料理）の支援を行うことが出来た。今後はご利用者にもおやつ作りや行事の準備の役割提供をしていけたらと思う。DCの利用者様の栄養状態の把握の取り組みは行え、利用者様からも好評を得ることが出来た。

「リハビリ課」

＜行動理念1＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- 1. 部署別方針
 - a. 利用者のニーズを把握し、適切なリハビリテーションプログラムの作成と実施を行う。
 - b. 在宅復帰を目標に他職種と情報の共有を図りチームアプローチを進めていく。
- 2. 具体的方策
 - a. 利用者、家族のニーズを把握し、適切な個別リハビリテーションプログラムを作成・実施する。
 - b. 他職種と情報の共有を行いながら、在宅復帰に向けたサポートを行う。

＜行動理念2＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 1. 部署別方針
 - a. 地域の各機関との情報共有を行い、タイムリーな対応、連携を進める。
- 2. 具体的方策
 - a. 新しい情報を収集し、福祉医療分野を取り巻く地域の状況をチームで情報共有する。
 - b. 地域の各機関と情報交換を行い連携を図り、切れ目のないリハビリテーションサービスの提供に努める。

＜行動理念3＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 1. 部署別方針
 - a. 積極的な勉強会、研修会への参加や、個人的な知識技術の向上に努める。
- 2. 具体的方策
 - a. 積極的に勉強会や研修会の参加など、知識技術の向上を図るよう努める。

＜行動理念4＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 1. 部署別方針
 - a. リハビリ室の管理、整頓を行いコスト意識を高める。
- 2. 具体的方策
 - a. 感染対策やコスト意識を高めながら、リハビリ室の整理整頓、機器の管理を行う。

【リハ】

- 利用者、家族のニーズは把握できていたがプログラムとして行うのに時間を要していた。こまめに情報共有を図り、チームアプローチをすることが出来た。在宅復帰につなげることができないケースが多かったため、在宅復帰の可能性が少しでも見られる方へのアプローチを進めていけるように取り組む必要がある。

「看護課」

＜行動理念1＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針

- 利用者が安心して過ごせる環境を作る。

2. 具体的方策

- ご利用者の思いに共感し尊敬の思いを寄せて接する。
- 自尊心を傷つける事がないように丁寧な接遇や対応を心掛ける。
- 情報を共有し希望に添えるように対応する。
- 些細な体調の変化を見逃さない。

＜行動理念2＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針

- 在宅復帰が出来るよう支援する。
- 地域に受け入れられる場所づくり。

2. 具体的方策

- 在宅復帰を念頭に置き衛材を考慮する。
- 在宅復帰に向け社会動向や福祉分野の状況を把握しながら他部署と情報を提供し対応につなげる。

＜行動理念3＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針

- 統一したケアを提供する。
- 正しい知識や技術を共有する。

2. 具体的方策

- 技術、知識の情報を共有する。
- 研修に参加し新しい知識を習得する。
- 不明確なことはすぐに調べる。

＜行動理念4＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針

- コスト意識を高める。
- 感染を広げない。

2. 具体的方策

- 物品の価格を知る。
- 無駄をなくす。
- 物品の期限の確認。
- 節電、節水を心掛ける。
- 再利用に努める。
- 感染症を持ち込まない、広げない意識をもつ。

【看護】

- 看護師内、他部署と情報を共有し、適切なケアや声掛けを行う事ができ、家人の求める目標を他部署と共有し、在宅復帰に繋げるよう対応できた。カンファレンス等で他部署からの意見や情報を共有し、看護師からの情報発信を積極的に行っていきたい。感染に注意し業務にあたる事が出来た、今後も利用者様の体調の変化に注視し感染症の拡大予防に努めていきたい。

「介護課(従来型)」

＜行動理念1＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針

- a. 利用者様の残存機能の維持、向上の実践を行う。
- b. 「出来る事」を見つけ支援を行う。

2. 具体的方策

- a. 情報共有を充実させ、他職種連携を図る。
- b. ケース記録の充実を図り、利用者様の1日の生活の流れを把握する。
- c. 失敗を謙虚に受け止め、職員間の成功事例を多く作る。
- d. 生活の延長を意識しケアを提供する。

＜行動理念2＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針

- a. 在宅復帰の支援に向けてご利用者の状態、状況を把握し、家族にも安心してもらえるケアの定時、提供を行う。
- b. 面会時、連絡時等にしっかりとした情報を提供できるようにご利用者の生活を把握する。

2. 具体的方策

- a. 介護技術、知識、意識の向上を図る。
- b. ケア提供、ケアプラン作成の為に職員の能力向上を図る。
- c. 在宅復帰をはじめ家族の方も安心出来る環境づくりを行う。

＜行動理念3＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針

- a. 利用者に合った最適なケアや声掛けを行い、部署内で情報を共有し実践する。

2. 具体的方策

- a. 会議、委員会などを通じて否定的にならない情報交換、共有を図る。

＜行動理念4＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針

- a. 節電や節水を行う。
- b. 介護物品の無駄をなくし、無駄使いをしない。

2. 具体的方策

- a. 水道はこまめに止め、使用していない空間の電気やエアコンは切る。
- b. 安易に大きめの排泄用品を使用しない。なぜそれを使用しているのかを考え、変更等があった際には相談、情報共有しコスト面も意識する。

＜評価＞

【従来型】

- 他職種との情報共有が出来、個別ケアに活かせることができた。在宅復帰への取り組みの一環として自発動作を促すケアや利用者様が出来ることを発見していく中で、自力で行えている事に気づき、安易な介助の対応を減らすことが出来た。職員間で上手くいったことなどを共有できたが失敗に対してのフォローアップが少なかった。

「介護課(ユニット型)」

＜行動理念1＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針

- a. 入居者一人一人の思いを尊重し、寄り添えるケアの提供。

2. 具体的方策

- a. 居室担当が入居者の要望を引き出す。
- b. 個別ケアの提案を他職員に共有した上で全体で取り組む。
- c. 個別ケアを実践する為にユニット費を有効に使う。

＜行動理念2＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針

- a. 家族との情報共有。
- b. 環境整備。

2. 具体的方策

- a. 在宅復帰に向けて、家族に情報発信できるように担当者以外も積極的に記録に残していく。
- b. 外部の人の目線にたって掲示物の定期的な見直しや整理整頓を心掛ける。

＜行動理念3＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針

- a. 介護知識・技術・思いやり精神の向上。

2. 具体的方策

- a. 所内研修、外部研修後、他職員に伝えたいこと、印象に残ったことをユニット会議の議事録に残し共有していく。

＜行動理念4＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針

- a. 節電・節約に努める。

2. 具体的方策

- a. 日中、不要な電気を消す。
- b. 整理整頓を行い、不必要な物の購入をしない。

＜評価＞

【ユニット型】

- 話の傾聴・余暇時間のレク作業の提供等ができ、生活の活性化に繋げることが出来た。委員会の議題をユニット会議で議論、ユニット内で感じたことを発信、協議しユニットで共有できた。

＜利用実績＞

1) 介護老人保健施設(従来型) 年間目標：稼働率：96%、平均入所者数：48名

	延在籍数	1日平均数 (稼働率%)	平均介護度	退所者数	入所者数
4月	1424	47.4 (94.9)	2.21	4	2
5月	1497	48.2 (96.5)	2.14	2	3
6月	1402	46.7 (93.4)	2.12	3	0
7月	1458	47.0 (94.0)	2.23	3	5
8月	1452	46.8 (93.6)	2.27	3	3
9月	1371	45.7 (91.4)	2.24	4	3
10月	1451	46.8 (93.6)	2.30	3	5
11月	1397	46.5 (93.1)	2.40	3	2
12月	1448	46.7 (93.4)	2.47	5	3
1月	1422	45.8 (91.7)	2.45	2	5
2月	1379	49.2 (98.5)	2.50	3	5
3月	1506	48.5 (97.1)	2.50	4	2
平均(合計)	17207	47.1 (94.2)	2.32	39	38

2) 介護老人保健施設(ユニット型)

年間目標：稼働率：96.5%、平均入所者数：19.3名

	延在籍数	1日平均数 (稼働率%)	平均介護度	退所者数	入所者数
4月	593	19.7 (98.8)	2.89	1	1
5月	592	19.1 (95.4)	2.84	3	2
6月	588	19.6 (98.0)	2.71	1	2
7月	608	19.6 (98.0)	2.66	3	3
8月	619	19.9 (99.8)	2.74	2	1
9月	590	19.6 (98.3)	2.81	2	1
10月	599	19.3 (96.6)	2.84	1	2
11月	580	19.3 (96.6)	2.78	0	1
12月	595	19.2 (95.9)	2.74	1	0
1月	550	17.7 (88.7)	2.69	4	2
2月	523	18.6 (93.3)	2.37	0	2
3月	584	18.8 (94.1)	2.40	3	3
平均(合計)	7021	19.2 (96.1)	2.71	21	20

〈評価〉

- 従来型年間目標稼働率96%に対して94.2%、ユニット型年間目標稼働率96.5%に対して96.1%と従来型、ユニット型ともに目標をわずかに下回る結果となりました。在宅復帰者の増加と入院者も重なったことで稼働率が低下してしまっただ。回転率・在宅復帰率は向上しており、従来型は加算型を維持、ユニット型は年度途中から強化型・超強化型を算定することができた。今後は在宅復帰予定者のスムーズなベッドコントロールと医療機関や他事業所との連携強化、多職種と協力しサービスの質の向上、在宅復帰支援の強化を図り、選ばれる施設運営を行っていききたい。

＜年間行事・ボランティア受入実績＞

従来型

4月	花見ドライブ
5月	運動会
6月	食フェス
7月	スイーツバイキング
8月	花火大会
9月	敬老会

10月	ピザパーティー
11月	のど自慢大会
12月	餅つき 忘年会
1月	新年会「年明けうどん」 魚の解体ショー
2月	節分祭
3月	ひな祭り スイーツバイキング

※定期行事

毎週木曜日：おやつ作り
毎月第2週火曜日：移動図書館
毎月第1火曜日：散髪

ユニット型

4月	花見ドライブ
5月	お好み焼きパーティー
6月	フリーマーケット
7月	夏祭り
8月	蕎麦打ち・天ぷら 花火大会
9月	敬老会
10月	運動会
11月	紅葉ドライブ
12月	もちつき
1月	新年会
2月	節分祭 魚の解体ショー
3月	ひな祭り

※定期行事・随時開催行事

随時開催：誕生日会
毎週木曜日：おやつ作り
毎月第2週火曜日：移動図書館
毎月第1火曜日：散髪

<研修・会議等参加実績>
外部研修

5月	2名	最新機器体験会
	1名	岡山県老人保健施設協会学術委員会第1回役員会
	1名	おむつフィッター3級高知会場
6月	2名	コーチング研修
7月	2名	令和6年度第1回西Aブロック研修会
	2名	市民病院トワイライトセミナー「褥瘡のミカタ」
8月	1名	令和6年度岡山県
	2名	令和6年度看護・介護部会研修会
	2名	令和6年度岡山県老健協感染対策部会研修会
	2名	福祉施設職員キャリアパス対応生涯研修過程中堅コース
	2名	チームリーダー重点テーマ強化研修
	1名	認知症介護実践研修実践者研修
	1名	認知症介護実践研修実践者研修
9月	2名	第2回西Aブロック研修会
	1名	認知症介護実践研修実践者研修
	2名	令和6年度中堅職員重点テーマ強化研修
10月	2名	中国5県医療・福祉事業部合同研修会
	1名	認知症介護実践研修実践リーダー研修
	2名	令和6年度リスクマネジメント研修
	1名	介護現場のコンプライアンス
		令和6年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程チームリーダーコース
	2名	
12月	2名	感染エキスパート養成研修
1月	1名	リスクマネジメント部会主催研修会
2月	2名	倉敷市介護保険等事業者等連絡協議会第3回研修会
2月	4名	令和6年度介護施設における法律事務研修

部署別会議：毎月第1月曜日

ユニット会議：毎月第1金曜日

感染対策委員会：毎月第2水曜日

事故防止委員会毎月第3水曜日

身体拘束廃止・虐待防止委員会：毎月第4水曜日

全体職員会議：毎月第4木曜日

排泄向上委員会：毎月1回

<実習生受入実績>

	学校名・受入人数	実習内容
5月	岡山医療福祉専門学校 2名	介護福祉実習
6月	岡山医療福祉専門学校 2名	介護福祉実習

	岡山医療福祉専門学校 10名	見学実習
9月	岡山医療福祉専門学校 2名	介護福祉実習
10月	岡山医療福祉専門学校 2名	介護福祉実習
11月	岡山医療福祉専門学校 2名	介護福祉実習
3月	岡山医療福祉専門学校 1名	社会福祉現場実習

<職員採用・退職・異動実績>

	採用	異動	退職
11月	12日付：従来型看護師		
3月			31日付：ユニット型看護主任 (定年退職)

倉敷シルバーナーシングホームデイケア 令和6年度事業報告書

<基本理念>

「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

『相談員』

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針
 - a. ご利用者の声を第一に、サービス提供と情報共有が行えるように調整を行う。
 - b. 相手側の立場を意識し、常に気持ちのよい挨拶や対応を心掛ける。
2. 具体的方策
 - a. 全てのご利用者と、利用時にコミュニケーションを図り、積極的にニーズや状況の把握に努める。
 - b. ご利用者、家族、ケアマネ及び他サービス事業者等より得られた情報については、適時、サービスに反映できるよう、ミーティングなどを活用し、職員間の情報共有に努める。
 - c. 常に快い挨拶ができるよう意識を持ち、職員の先頭に立ち、笑顔で挨拶を行う。

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針
 - a. ご利用者やご家族、地域住民から信頼される施設運営を行う。
 - b. 在宅復帰後の受け皿となれるよう、老健との連携を密に行い、情報共有に努める。
2. 具体的方策
 - a. ご利用者の要望を第一に考え、ご家族、担当ケアマネなど、各種関係者との調整を迅速に行う。
 - b. 地域や各関係機関へ行事の案内や広報を行い、情報発信に努める。
 - c. 老健入所中のご利用者に対して、老健相談員、担当ケアマネ等と情報共有、連携を行い、円滑に在宅復帰を行えるよう支援を行う。

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針
 - a. 研修参加を通じて、専門的知識・技術の習得・向上に努める。
 - b. 職員間の情報共有を密に行い、各職の専門性を最大限に発揮できるように努める。
2. 具体的方策
 - a. 内外部の研修へ積極的に参加し、自身の知識・技術の向上を図ると共に、他職員へのフィードバックを行う。
 - b. 日々のコミュニケーションや申し送りを密に行い、職員間の情報と意志の共有に努める。
 - c. 資格取得への動機付けや必要に応じた支援を行う。

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針
 - a. 稼働率85%を目標とする。
 - b. 法改正の動向を注視し、先を見据えたサービスの構築を目指す。
2. 具体的方策
 - a. 居宅支援事業所への訪問、各種関係者との連携を密に行い、新規利用者の獲得に向け、事業所のアピール、情報発信を行う。
 - b. 入院者の動向に注視し、長期入院者への適切なアプローチを行い、早期段階で稼働率の改善に努める。
 - c. 担当ケアマネ、他サービス事業所等との連携に努め、地域包括ケアシステムの循環に合わせた、ご利用者のサービス移行、拡大の支援を行う。

- d. 今後の法改正を見据え、加算取得に向けたアプローチを行う。

<評価>

1. サービス提供時の他、担当者会議、送迎時等、定期的に、ご利用者、ご家族と関わる機会を設けることで、潜在的なニーズを把握し、追加利用に繋げることができた。
2. 地域の介護支援専門員の相談に対して、きめ細やかに対応することで、一定の信頼関係を築くことができたが、相談案件が減少し、新規を獲得できない期間があった。
3. 法改正等、制度理解に努め、適切な事業運営を展開することができた。

『リハビリ課』

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針
 - a. ご利用者の現在の機能面だけでなく、家族や自宅環境を含めた総合的な評価を行う
 - b. 各ご利用者の状態やニーズに応じたリハビリプログラムを実施する
 - c. チームケアの実施及び情報の共有を密にする
2. 具体的方策
 - a. ご利用者及びご家族、関係機関からの情報収集を密に行い、適時、ニーズの確認や目標設定の見直し等を行う。
 - b. 身体及び精神機能・ADL・病状・リスク面等を把握し、プログラムを立案する。
 - c. 適時、自宅訪問を行い、自宅や屋外での機能について評価を行い、必要な支援を考案する。
 - d. 日々のミーティング等を通じて、定期的に他職種との情報交換を行う機会を設ける。
 - e. 介護職との連携を密に行い、個別機能訓練以外のプログラムについて、リハビリメニューの充実を図る。

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針
 - a. 家族や担当ケアマネとの情報共有を密に行う
 - b. 機能面だけでなく生活面等の情報収集に努める
2. 具体的方策
 - a. 計画書等を用いて、直接的な情報提供を行う他、必要時は相談員を介し、間接的な情報提供を行う。
 - b. 担当者会議など、外部関係者と情報共有できる場へ積極的に参加し、専門職として情報提供を行えるよう努める。
 - c. 老健から在宅復帰する利用者の支援を行う際は、担当療法士との連携を密に行い、入所と通所で、一体的なリハビリを実践する。
 - d. 実習担当教諭との連携を密に行い、後進育成を通じて、地域に利益を還元する。

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針
 - a. 定期的に研修へ参加する
 - b. 職員間、他職種間での情報共有に努める
2. 具体的方策
 - a. 内部・外部研修に参加し、部署内で研修のフィードバックを行う。
 - b. リハビリ職員だけでなく、他職種とも、報告、連絡、相談を密に行う。

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針
 - a. リハビリ機器の整備
 - b. 法改正の動向に注意し、先を見据えたリハビリサービスの提供及び環境の整備を行う
 - c. 業務全体の流れの確認及び見直し
2. 具体的方策

- a. 治療機器の使用方法を十分に理解し、定期的なメンテナンスを実施する。
- b. 書類及び実働の流れの確認、見直しを行い、必要時には変更を行う。
- c. ご利用者のリハビリ満足度を高めると共に、必要に応じてリハビリ体制を見直し、他部署との業務分担を行う。

<評価>

- 1. 家屋調査の他、担当者会議への出席等、ご利用者、ご家族と積極に関わる場面を設けることで、リハビリ職として、情報収集、情報発信、情報共有に努めることができた。
- 2. 介助方法等、多職種共同にて、サービス内容の見直しを検討することで、ご利用者の残存機能の維持を図ることができた。
- 3. 個別リハビリを通じて、ご利用者の潜在的なニーズを把握し、必要なサービスに繋げることができた。

『介護員』

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- 1. 部署別方針
 - a. ご利用者と信頼関係を築く
 - b. ご利用者に関わる機会を大切にし、コミュニケーションを通じて、個々のニーズを引き出す
 - c. 気持ちの良い丁寧な介護を行う
- 2. 具体的方策
 - a. ご利用者とのコミュニケーションを取る際は、傾聴を心がけ、双方向コミュニケーションの実践に努める
 - b. 挨拶から始まるコミュニケーションを基本とし、気持ちのよい介護を実践する
 - c. ご利用者のニーズを把握し、ニーズに合ったサービスを提供できるよう活動内容の充足に努める

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 1. 部署別方針
 - a. 利用者や家族、地域住民から信頼される施設運営を行う
 - b. ボランティアや実習生の受け入れを積極的に行う
- 2. 具体的方策
 - a. ご利用者、家族、訪問者、地域の方々へ気持ちの良い挨拶を行う
 - b. 送迎時の交通ルールやマナーを遵守する
 - c. ご利用者のニーズに応じて、定期的にボランティアの受け入れを行う

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 1. 部署別方針
 - a. 社内外研修に参加し、新たな知識や技術・接客マナーを身につける機会を設ける。
- 2. 具体的方策
 - a. 社外研修への積極的な参加とフィードバックを行う
 - b. 気付きを大切にし、積極的な発言、職責を意識した発言が出来るように努める
 - c. 介護福祉士・介護支援専門員等の資格取得に努め、職員個人のスキルアップを図る

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 1. 部署別方針
 - a. 経費の削減に努める
- 2. 具体的方策
 - a. 備品の整理と必要な物品の有無の現状を把握する
 - b. 消耗品の無駄をなくし、節水・節電を心がける
 - c. 経費削減への各職員の意識の向上を目指す

<評価>

- 1. ご利用者ひとりひとりのニーズに対して、傾聴を心がけ、きめ細やかに対応することで、デイケア全体

のサービスの質を保つことができた。

- 職員に欠員が生じた際には、他職種との連携により、適時業務の調整を行い、入浴、レクリエーション、送迎等、サービスの質を低下させることなく、業務を継続することができた。
- 感染症対策継続のため、おやつ作りを再開することができなかった。

<利用実績・介護保険サービス>

	開館日数	平均利用者	平均要介護度	稼働率(%)
4月	22日	26.14名	1.82	87.1%
5月	23日	25.39名	1.77	84.6%
6月	20日	25.20名	1.64	84.0%
7月	23日	25.87名	1.65	86.2%
8月	22日	25.27名	1.7	84.2%
9月	21日	26.81名	1.74	89.4%
10月	23日	26.09名	1.68	87.0%
11月	21日	25.67名	1.66	85.6%
12月	21日	24.05名	1.66	80.2%
1月	20日	25.45名	1.69	84.8%
2月	20日	23.30名	1.71	77.7%
3月	21日	23.38名	1.6	77.9%
令和6年度実績	257日	25.24名	1.7	84.1%

<評価>

令和6年度の目標値として、稼働率85%、平均要介護度1.5、を設定。春から秋にかけて、新規利用者を継続的に獲得し、安定的に稼働率を維持することができていたが、年末頃より、入院、施設入所に伴う利用中止が続き、稼働率が低下。冬季期間中は、体調不良による一時的な利用休止に加え、新規利用者の相談案件が減少したため、低下した稼働率をリカバリーすることができなかったが、既存利用者へ追加利用、振替利用を積極的に提案することで、最低限の稼働率を保持することができた。年度末の失速により、目標を達成することはできなかったが、一年を通じて高い稼働率を維持できたことで、職員のモチベーションが高まり、感染症に伴うクラスターを回避する等、事業所全体のサービスの質を高めることができた。令和7年度については、継続的に新規利用者を獲得し、高い数値で稼働率を維持できるよう、引き続き、地域の関係機関との繋がりを大切にしていきたい。また、感染症の蔓延による稼働率低下を最小限に抑えられるよう、一年を通して、感染対策を徹底できるよう努めたい。

<主な業務日課>

時間	日課
----	----

8：00	申し送り、送迎出発準備、送迎、始業準備
8：30	利用者迎え入れ、バイタルチェック、水分補給、昼食数確認
9：00	個別リハビリテーション開始
10：00	朝の挨拶、入浴開始、個別作業、個別機能訓練
11：45	昼食準備、口腔体操
12：00	昼食介助、排泄介助
13：00	今月の歌、集団リハビリテーション、個別リハビリテーション
13：30	集団444レクリエーション、個別機能訓練、作業療法
15：00	おやつ準備
15：15	送迎前排泄介助、整理体操
15：30	帰りの挨拶、順次送迎開始、利用者送り出し
15：40	リハビリテーション会議、カルテ記入、掃除、翌日準備
16：40	ミーティング、運営会議
17：00	終業

*ミーティング（週1回）、運営会議（月1回）、リハビリテーション会議（随時）

<年間行事、実習生・ボランティア受入実績>

	行事計画	実習生・ボランティア受入
4月	食事イベント「お花見弁当」	
5月	バーベキュー大会	介護福祉士実習
6月	食事イベント「お好み焼き」	
7月	夏祭り	
8月	食事イベント「そうめん、天ぷら」	社会福祉士実習
9月	敬老会	
10月	食事イベント「栗ご飯・天ぷら」	
11月	食事イベント「寄せ鍋」	中学生介護体験
12月	鉄板ステーキ、クリスマス会、もちつき	中学生介護体験
1月	食事イベント「松花堂弁当」	
2月	節分祭	

3月	食事イベント「握りずしフェア」	介護支援専門員実習
----	-----------------	-----------

<毎月定期の行事>

誕生日会、おやつ作り

<毎週定期の行事>

集団レクリエーション・集団リハビリテーション（タオル体操、棒体操、リング体操）

<研修・会議等参加実績>

	所内研修・会議計画	防災計画	福利厚生計画
4月	身体拘束廃止	BCP（自然災害）勉強会 BCP（自然災害）訓練	
5月	事故防止		制服貸与
5月	食中毒対策		
6月	高齢者虐待・権利擁護		
7月		避難訓練 消防設備点検	健康診断
8月	感染症対策		
8月		BCP（感染症）勉強会 BCP（感染症）訓練	
9月	認知症ケア		
10月	職業倫理・法令順守		インフルエンザ予防接種
10月	個人情報保護		
11月	感染症対策・嘔吐処理演習		
12月		避難訓練	
3月		消防設備点検	

<職員採用・退職・異動実績>

	採用	異動	退職

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 鷺山会

- 介護老人福祉施設
特別養護老人ホーム 岡山シルバーセンター
- 通所介護事業所
岡山デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所
岡山シルバー在宅介護支援センター
- ケアハウス
ゆうステイ岡山

特別養護老人ホーム 岡山シルバーセンター 令和6年度事業報告書

<基本理念>

「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

「相談、事務、栄養課」

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- ご利用者・ご家族と密に連携を図り、ニーズの把握に努め、問題解決に努める。
- ご利用者が「ひと、かがやく生活」を行うためにどのような支援が必要かを把握し、ケアプランに反映する。
- 経口維持への取り組みを強化し、口からの食事摂取の継続に努める。
- 多職種連携によりターミナルケアと認知症ケアの充実を図る。
- 福祉用具を積極的に取り入れ、利用者の状態に適した介護の提供をする。

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 地域の方に対して、介護の相談役として援助し、住み慣れた環境で生活し続けられる支援を行う。
- 外部の方の活躍の場として、地域のボランティアや実習生などの受け入れをする。

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 職員間でのスムーズな連携、チームワークの円滑化を行う。
- 職員の離職を減らす努力を行う。
- 福祉用具を活用し、介護の負担を軽減する。
- ターミナルケアや認知症ケア、自立支援への積極的な取り組み。
- 適切なケアや接遇マナーを身につける為の職員教育、環境作りを行う。

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 安定した稼働実績を確保する為に、目標を稼働率90%（特養48人+短期15人）とする。
- 待機者情報の把握を行い、入所へのスムーズな移行を行う。
- コスト面の見直しを図り、経費削減を行う。

<評価>

- 年間稼働率90%（特養48人+短期15人）の実績目標を達成した。要因として、特養では年間を通じて入院者・退所者ともに少なかったことが挙げられる。短期入所においても、特養入院者の空床活用や困難事例の積極的な受け入れにより、概ね安定的な実績を残すことができた。
- 4月に介護職員1名の不適切な介護について内部告発があり、岡山市に通報の結果、虐待と認定される。サービス・接遇意識の向上を事業所全体の最重要課題として研修や人材育成を推進させ、再発防止に努めた。
- 多職種連携にて加算取得に努めた。施設として初めて経口移行加算を算定し、対象者の経口摂取再開をサポートできた。その他、医療機関との連携により、退所時情報提供加算・再入所時栄養連携加算を算定し、入院・退院後の継続した支援に勤めた。
- 委託給食会社と連携を取り、食事摂取量が少ないご利用者に対して特別食を提供した。経口栄養補助食品を活用し、食事の経口摂取が維持できた。
- 委託給食会社の食事サービス変更に対し、食事向上委員会等で他職種に丁寧に説明を行い、安全で効率的な給食提供に努めた。給食委託会社には、検食簿やご利用者からの意見を集約し、おいしい給食が提供できるように努めた。

「看護課」

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- ご利用者の声に傾聴し、共感的態度・声掛けに心がけます。
- ご利用者の個人情報の管理とプライバシーに配慮した看護ケアを行います。
- ご利用者の望む尊厳ある施設看護の提供を行います。

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 新規ご利用者の調査に参加し、必要な情報を得ます。
- b. 感染症流行の状況を把握し、感染防止に努めます。
- c. 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所との連携・情報共有を行います。

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. 入所者の心身異常や病状の変化を察知し、配置医と連携を図ります。
- b. ターミナルケアや認知症ケア、自立支援へ医療面からの支援します。
- c. 自己学（研修参加）など知り得た情報を日々の看護に活かします。

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. ご利用者、ご家族の希望に沿った医療ケアが行えるよう入院者減少に多職種との連携を行います。
- b. 衛生材料を適切に選択・工夫を図ります。
- c. 節電・節水を常に意識します。

<評価>

- ご利用者への医療的ケアについては医師・看護師間で連携し、滞りなく実施できている。外部機関との連携についても、窓口の相談員を通して適切に行えた。ご利用者への対応について、状態の悪化や医学的制限等の理由でご意向に沿うことが困難なケースもあるが、満足いただけるよう努めた。

「介護課」

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. ご利用者の立場に立つ事を第一優先とし適切な声掛け、ケアの提供に努めます
- b. 高齢者介護のプロとしてご利用者の思いに親身に寄り添い安心してご利用頂き、愛される施設を目指します。
- c. 生活の場として適切な関わり、コミュニケーション技術の展開

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 多種多様なニーズに適応し地域福祉に貢献します

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. 外部研修・所内研修の場を現場に活かし、ケアの充足を図る
- b. 各委員会がそれぞれが自発的にスキル向上の為、目標を立て現場を活性化する
- c. ご利用者目線での介護を行い、不適切ケアをゼロにする
- d. ターミナルケアや認知症ケア、自立支援への積極的な取り組み
- e. 個々の状況・状態把握に努め、統一したケア、職員間でのスムーズな連携、チームワークの円滑化を行う

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. サービスの質を落とすことなく、無駄遣いを控える
- b. 安定したサービス提供を維持する

<評価>

- 接遇を意識した対応をご利用者の状態に合わせて実施できるようスタッフ間で何度も話し合いの場を設けた。困難ケースに対しても多職種で統一した支援が提供できるよう努めた。課題として、看取り介護、認知症ケアに対して全体で決められたことはできるが、個々の職員が自ら考え、よりきめ細やかなケアが実践できるよう、意識の向上やスキルの習得等を図る必要性を感じている。

「感染症対策委員会」

<鷺山会感染症、食中毒の予防・蔓延防止に関する基本理念>

1. 基本理念

- a. 社会福祉施設は、感染症等に対する抵抗力が弱い高齢者が生活する場であり、こうした高齢者が多数生活する環境は感染が広がりやすい状況である事を認識しなければならない。このような前提に立って施設では、感染症・食中毒を予防する体制を整備し、平素から対策を実施するとともに、感染予防、感染症発生時には多職種協働にて迅速かつ適切な対応に努める必要がある。

2. 感染症対策施設方針

- a. 岡山シルバーセンターは、新型コロナやインフルエンザ等の感染症や食中毒の発生、蔓延防止に取り組むにあたっての基本理念を理解し「感染症対策委員会」を設置、施設全体でこの事に取り組む事とする。

3. 委員会具体的方策

- a. 標準時には感染症対策委員会を1回/月開催し、委員会メンバーにて感染症の情報の共有を実施、委員会メンバーより担当部署職員へ情報の伝達と日々の対策を徹底する。
- b. 感染症対策標準予防策「スタンダード・プリコーション」を徹底すべく、2回/年、所内研修を実施する事で直接処遇職員の感染予防技術の底上げに努める。また、新人職員採用時は新人研修時に指導を行う。
- c. 職員出勤時には体調確認表を活用しウイルスを施設内に持ち込まないよう徹底する。

<評価>

- 感染対策とご利用者の豊かな生活の両立を図るべく、持続可能な対策や平時における標準予防策について考え実践した。
- 年間を通じてご利用者計14名のコロナ感染があったが、初期対応に努め、クラスターの発生をゼロに抑えることに成功した。その他、職員個人にコロナ・インフルエンザの感染があったが、休養しやすい環境作りに努め、施設への感染症の持ち込みを予防した。
- 医師との連携や情報共有に努め、エリア全体で感染予防に取り組んだ。

「安全対策委員会」

<鷺山会介護事故防止のための基本理念>

1. 基本理念

- a. 介護事故はちょっとした不注意で発生する。私達は介護・看護のプロとして介護事故を最小限に抑え、一度発生した介護事故は二度と起こさないようにしなければならない。「ひやり・はっと報告書」「介護事故報告書」を分析する事で対処、研究を常に図り、ご利用者、ご家族に安心して施設をご利用いただけるよう細心の注意を払い、介護事故の減少に最大限の努力と対処を行う。

2. 安全対策施設方針

- a. 介護事故防止に取り組むにあたっての基本理念を理解し「安全対策委員会」を設置、運営することで施設全体でこの事に取り組む事とする。
- b. リスクマネージャーを配置し館内の安全点検、ひやり・はっと、介護事故の発生傾向調査、発生防止のためのルールを遵守できているか否かの確認を行う事で、リスクマネジメントの取り組みを行う。

3. 委員会具体的方策

- a. 「介護事故防止」に関する研修会を2回/年、実施する。
- b. 新人職員採用時は新人研修時に「介護事故防止」に関する指導を行う。
- c. 介護事故を防止するため毎月1回以上「安全対策委員会」を開催し、介護事故の未然防止についての対策を講じる。
- d. 毎月、特養ミーティングにて全職員に対し、発生した事故報告と安全対策委員会で検討した内容を詳しく報告し、介助方法の統一を図る。
- e. 事故報告書の定期的な集計と分析結果を全職員に周知させ、事故を未然に防ぐツールとして活用する。集計結果を家族会にて報告し施設の透明性を図る。

<評価>

- 安全対策委員会、ミーティング、職員研修等での事故分析により介護事故の発生予防のための取り組みを滞りなく行うことができた。
- 令和6年度の事故の特徴として、コロナ等による感染症のクラスター化が無く、感染者の隔離対応に伴う室内での事故や外傷事故の発生が総じて減少している。
- 令和5年度以降、誤薬事故への対策強化を推進し、成果が維持できている。

- 事故内容はご家族や関係機関に報告するとともに家族会で公表することにより透明性確保に努めた。

「身体拘束廃止委員会」

<鷺山会身体拘束廃止のための基本理念>

1. 基本理念

- 身体拘束は、ご利用者の生活の自由を制限することであり、ご利用者の尊厳ある生活を阻むものである。当法人ではご利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人一人が身体的、精神的弊害を理解し、身体拘束廃止に向けた意識を持ち、身体拘束をしないケアの実施に努める。

2. 身体拘束廃止施設方針

- 身体拘束の廃止に取り組むにあたっての理念を理解し「身体拘束廃止委員会」を設置・運営することで施設全体でこのことに取り組むこととする。
- 豊かで、安全、安心できる快適な生活を送れるために、ケア全体を見直し、緊急やむを得ない場合は適切な手続きのもと慎重に判断し身体拘束ゼロを目標とする。
- 施設広報誌に掲載し、情報開示に努める。

3. 委員会具体的方策

- 身体拘束を廃止、防止するため年4回「身体拘束廃止委員会」を開催し、身体拘束ゼロを目指す。但し、身体拘束対象者が在籍する場合には月2回以上開催し、身体拘束の廃止を図る。
- 緊急やむを得ない判断は「施設長」の最終判断でのみ決定し、ご利用者本人、ご家族に大して詳細に説明し文章にて同意を得る。また緊急やむを得ず身体拘束を行う場合でも、常に観察、再検討し、要件に該当しなくなった場合は直ちに拘束を解除する。
- 身体拘束についての全職員を対象とした研修を年2回行い、ご利用者の安全と尊厳を守る事について共通の理解を得る。
- 不適切ケアチェックを年2回実施し、課題の可視化と改善を図る。

<評価>

- 身体拘束ゼロの目標を達成した。
- 身体拘束と高齢者虐待には強い関連性があることを認識し、不適切ケアの廃止に取り組んだ。研修の定期開催により、身体拘束廃止の意識を施設全体で共有できた。

「食事委員会」

1. 年間目標

- ご利用者のニーズに合った楽しく安全な食事の提供とその環境設備

2. 委員会具体的方策

- 年間行事、季節に即した食事イベントの計画、開催をする。
- 食事形態、食事用具、食事姿勢などの内容の見直しをする。
- 職員の手本になるような食事介助技術の習得、発信をする。

<評価>

- 課題に直面した際には職員間での話し合いをその都度実施し、環境整備や安全対策ができた。食品管理についてもマニュアルを定め、適正に行えた。
- 季節にあった食事イベントを開催できた。2Fでの実施が多くなったため、3Fでも計画的に実施すべきであった。
- 食事形態や食器についての見直しを定期的に行えた。ご利用者によっては更なる詳細なアセスメントが必要な方がおり課題となった。
- 食事技術の発信が少なかった。次年度は食事委員会主催の研修を実施すべきと考えている。

「入浴委員会」

1. 年間目標

- a. 安全・安心に入浴してもらえるような介助の提供
- b. 季節感を感じて頂けるように配慮した入浴の提供
- c. ご利用者の体調に合わせた入浴方法を提供

2. 委員会具体的方策

- a. 利用者の身体状況に合わせ入浴方法の見直しをこまめに行う
- b. 変わり湯や装飾などで季節感をあじわって頂く

<評価>

- ご利用者の状態に合わせて安心・安全な入浴介助を心掛けたが、時に怪我等の発生もあった。入浴は皮膚が露出することで、外傷リスクがあるため引き続き注意が必要である。
- 浴室の装飾で季節を感じていただく配慮ができた。一方で装飾や入浴剤がパターン化し、工夫に欠ける点があった。
- 入浴後に飲料の提供を行うことで、脱水予防と満足度向上を図ることができた。入浴後の炭酸飲料提供は特に好評であった。

「排泄委員会」

1. 年間目標

- a. 個人個人にあったパットの見直しを定期的に行う。
- b. 介護員・看護師・管理栄養士が情報共有を行い、協力して排便コントロールへのアプローチを行う。
- c. 感染症防止の為、排せつ介助時には予防対応を徹底する。
- d. オシメやパットへのコスト意識を高め、無駄の無い使用を心掛ける。

2. 委員会具体的方策

- a. パット表の見直しを定期的に行う。
- b. 排泄パターンを確認し、排便の状態に応じて下剤の調整を行う。
- c. 使い捨てエプロンの着用、空気の入替え、消毒等を徹底する。
- d. コストへの意識を向けていくよう委員会から提案していく。

<評価>

- ご利用者の状態変化に対して柔軟に排泄支援を見直すべきであるが、対応を統一することに苦慮した。
- 新食事サービスの導入により、排泄リズムが乱れる方が増加した。多職種で連携して食事・服薬内容の見直しと、排泄コントロールの方法を模索した。個々の調整は難しく失敗も多々あったが、排泄委員会と連携して柔軟な対応が図れた。
- 感染症対策の意識が高まり、排泄介護後の消毒・衛生管理が適切に図れた。
- コスト削減について委員会メンバーは意識的に取り組めたが、職員全体に広く意識してもらえるよう働きかける必要があった。

「行事委員会」

1. 年間目標

- a. 季節にあった行事を行い、ご利用者に四季を感じていただく。
- b. 生活にメリハリを作っていただく。
- c. 行事ごとに装飾を行い、目でも楽しんでもらう。
- d. 行事への期待感を持っていただく。
- e. ご利用者に心から楽しんでもらえる行事を企画する。

2. 委員会具体的方策

- a. ご利用者の要望に応えられるよう、しっかりとご利用者の意見を取り入れる。
- b. ご利用者、ご家族、職員、一緒になって盛り上げられる行事を計画する。

<評価>

- 行事開催にあたり、当日の勤務者への情報共有が上手くできず混乱させてしまうことがあった。
- 全ご利用者の外出支援が実施できるよう計画的に外出行事を企画した。
- 季節に合わせた館内行事や装飾を施すことができた。

「サービス向上委員会」

1. 年間目標

- a. 不適切ケアを無くし、ご利用者へのサービス向上を目指す
- b. 職員の接遇に対する意識を高める。
- c. ご利用者からの要望に応えられる体制作り。

2. 委員会具体的方策

- a. サービス向上や接遇意識の向上に対する啓発活動を行う。
- b. 利用者へのアンケートや聞き取り調査

<評価>

- 事業所全体の接遇意識向上を目標に活動を行った。接遇アンケートにより課題を可視化し、全体および個人への指導を推進させた。入所者及びご家族は、優れた介護技術以外にもきめ細やかな配慮を求めていることを意識し、行事の充実や館内清掃なども呼びかけ、満足度の向上を図った。

<利用実績>

2024年度：特養48人+短期15.0人=63.0人（90.0%）目標

合算	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均人数	65.2	65.8	64.0	63.0	64.1	66.1	65.2	63.6	63.2	63.8	63.4	63.3	64.3
稼働率	93.2	94.1	91.4	90.0	91.7	94.4	93.2	90.8	90.4	91.2	90.5	90.4	91.8

特養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	49.5	49.3	48.1	49.1	50.0	50.3	48.9	48.8	50.1	48.6	47.1	46.0	48.8
介護度	3.79	3.88	3.86	3.84	3.84	3.9	3.87	3.89	3.94	3.9	3.91	4.03	3.89
入院	0	10	27	22	29	19	15	30	11	43	86	101	393
稼働率	99.1	98.7	96.2	98.3	100	100.6	97.8	97.6	100.2	97.2	94.2	92.0	97.6

短期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	15.7	16.5	15.9	13.9	14.1	15.8	16.3	14.8	13.1	15.3	16.3	17.3	15.5
介護度	3.16	3.13	3.12	3.00	2.9	2.85	2.89	2.84	2.86	2.8	3.1	2.85	2.96
稼働率	78.6	82.5	79.5	69.6	70.6	79.1	81.6	74.0	65.8	76.3	81.7	86.9	77.5

<評価>

- 特養：新規入所10名 退所11名
特養は在籍者の入院が少なく、年間を通して比較的安定的な実績を残すことができた。一方で1月以降、入院者の増加により稼働率低下の要因となったが、年間トータルで目標達成ができた。ニーズに応じて短期入所枠の特例利用を行うことで稼働率が100%を超える月もあった。入退所者は令和5年度の半数以下であり、動静の少ない年度であった。
短期入所は前年度同様、感染症発生時に実績低下があるも、12月を除いて大きく崩れることなく受け入れ調整を図った。特養在籍者の入院が増えた1月以降は、入院者床の空床利用の活用も行いながら実績改善に努めた。

<年間行事・ボランティア受入実績>

	行事計画	ボランティア受入計画
4月	5日、6日、7日、10日 花見外出 10日 桜餅作り 17日 ヨモギ団子作り	20日 清掃

5月	4日 フルーツサンド作り 15日 たこ焼き作り 15日、19日、29日、30日 外出 16日、27日 歌声ひろば	18日 清掃
6月	1日 どらやき作り 5日 ところてん作り 13日、27日 歌声ひろば	1日、5日、15日、29日 まつぼっくり 15日 清掃
7月	4日、18日 歌声ひろば 7日 七夕 20日 かき氷フェア 24日 外出 31日 夏祭りおやつバイキング	13日、20日、27日、31日 まつぼっくり 20日 清掃
8月	1日、15日 歌声ひろば 3日 すいか割り 15日 アイスcreamフェア 21日 物故者供養 24日 夏祭り出し物	3日、10日、15日、24日 まつぼっくり 17日 清掃
9月	1日 豚汁作り 5日、19日 歌声ひろば 7日 花火大会 15日 敬老会 19日 おはぎ作り	14日、19日、28日 まつぼっくり 21日 清掃
10月	3日、17日 歌声ひろば 9日、12日、13日、23日 外出 16日 炊き込みごはん作り 27日 ハロウィン 28日 クッキー作り	12日、16日、26日、28日 まつぼっくり 19日 清掃
11月	7日、21日 歌声ひろば 10日、13日、17日 外出 20日 プリの解体ショー 25日 スイートポテト作り	6日、7日 中学生職場体験 16日、25日、30日 まつぼっくり 21日 高校生インターンシップ 30日 清掃
12月	5日、19日 歌声ひろば 12日 外出 21日 クリスマス会 22日 ランチバイキング 24日 ケーキバイキング 29日 餅つき	7日、21日 まつぼっくり 21日 清掃
1月	1日 お屠蘇 2日 書初め 6日 どら焼き作り 6日、16日 歌声ひろば 22日 豚汁作り 31日 節分祭 29日、30日 初詣	6日、11日、22日、25日 まつぼっくり 18日 清掃
2月	1日 節分 4日 太巻き作り 16日 バレンタインスイーツ作り 19日 カレー作り	16日、19日 まつぼっくり 22日 清掃

	6日、20日 歌声ひろば	
3月	6日 歌声ひろば 16日 クッキー作り	16日 まつぼっくり 22日 清掃

<研修等参加実績>

	研修・会議の名称
4月	新規学校卒業就業者歓迎大会（介護員1名）
5月	次世代委員会総会及びセミナー（次長） くらしき作陽大学講師派遣（管理栄養士1名）
6月	行政立入監査対応のポイント（次長） 社会福祉士実習指導者アップデート研修（次長） 介護の快護化に向けた拘縮ケアと予防（介護員1名） BCP机上訓練自然災害編（次長） キャリアパス初任者コース（介護員1名） 県老協第1会総会（部長）
7月	キャリアパス初任者コース（介護員1名） 男性育児休業取得等促進事業経営層向けセミナー（部長） BCP机上訓練感染症編（相談員1名） 初任者重点テーマ強化研修（介護員1名） 岡山市ブロック総会（部長）
8月	認知症介護実践者研修（介護員1名） 介護福祉士実習指導者講習会（介護員1名） キャリアパス中堅コース（介護員1名） チームリーダー重点テーマ強化研修（介護員1名）
9月	安全運転管理者等法定講習（次長） 中堅職員重点テーマ強化研修（介護員1名） 給食施設従事者研修（管理栄養士） 給食施設研修会講師派遣（管理栄養士）
10月	山陽学園短期大学講師派遣（管理栄養士） 中国短期大学講師派遣（管理栄養士） くらしき作陽大学講師派遣（管理栄養士） 生涯教育福祉事業部実務研修講師派遣（管理栄養士） リスクマネジメント研修（相談員1名） 苦情対応研修（相談員1名） 高齢者施設における救急搬送に係る講習会（相談員1名） 介護福祉士実習指導者講習会（介護員1名） 介護現場における口腔ケア研修（相談員1名）
11月	認知症介護実践者研修（介護員1名） 岡山市福祉避難所説明会（次長）
12月	山陽学園短期大学講師派遣（管理栄養士） ノートルダム清心女子大学講師派遣（管理栄養士） 感染症対策リーダー育成研修（看護師1名）
1月	山陽学園短期大学講師派遣（管理栄養士） 臨地実習報告会（管理栄養士） 口腔ケア研修会（介護員1名）

	社会福祉法人きらくえん講師派遣（管理栄養士） 介護支援専門員更新研修（介護員2名）
2月	レジオネラ研修会（次長、相談員2名、介護員1名） 介護施設における法律実務研修（次長、相談員2名、介護員1名）
3月	給食施設栄養管理者講習会（管理栄養士） 岡山県老人福祉施設協議会第2回総会（部長） 岡山市集団指導（次長） 岡山市集団指導（相談員2名） 認知症介護基礎研修（介護員1名、洗濯員1名）

<実習生受入実績>

	学校名・受入人数	実習内容
4月		
5月		
6月	ノートルダム清心女子大学 8名 くらしき作陽大学 4名 山陽学園短期大学 4名	給食管理校外実習 給食管理校外実習 給食管理校外実習
7月		
8月	ノートルダム清心女子大学 1名	教員介護等体験実習
9月	就実大学 1名 くらしき作陽大学 8名	教員介護等体験実習 給食管理校外実習
10月		
11月	岡山医療福祉専門学校 1名 山陽学園短期大学 4名 岡山県立大学 4名	ソーシャルワーク実習 給食管理校外実習 給食管理校外実習
12月	くらしき作陽大学 4名	給食管理校外実習
1月		
2月		
3月		

<職員採用・退職・異動実績>

- ・看護師3名採用（5/1付1名、8/1付1名、11/1付1名）
- ・介護員4名採用（4/1付1名、4/21付1名、7/1付1名、3/1付1名）
- ・看護師3名退職（6/30付1名、12/31付1名、1/31付1名）
- ・介護員2名退職（4/30付1名、2/28付1名）

岡山シルバーデイサービスセンター 令和6年度事業報告書

<基本理念>

「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- ご利用者の不安や寂しさの思いを感じ寄添います
- ご利用者と積極的に関わりを持ち、信頼を得ます
- ご利用者の日々の変化に注意し、適切な支援に努めます
- ご利用者が在宅生活を継続できるよう、能力に応じた支援をおこないます

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 地域住民・居宅事務所・包括支援事務所・医療機関等との連携計り迅速な対応を行います（居宅支援の協力、情報提供、迅速なサービス調整を行います）
- ご家族との情報共有を心掛け、安心してご利用いただける事業運営に努めます（満足度調査の実施と、現場へのフィードバック・ご家族への情報提供と提案実施）
- 地域との交流機会を大切にし、事業所の認知度・信頼感を高めるよう努めます（地域へ訪問を行い、施設周知に努め、地域の催しに積極的に参加する）
- 施設職員としての自覚を常に持ち、信頼が得られるよう努めます

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 職員間のコミュニケーションを大切にし、立案・問題提起が行える環境を整えます
- 職員相互で相手に伝わる指示・指導を心掛け、職員全体の知識・技術の向上に努めます
- 自身の知識、経験で的確な判断が行えるよう意識し日々の業務に取組みます
- 日々の業務、研修で得た知識を活かし、自ら成長、スキルアップを意識し取組ます

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 安定したご利用者獲得に努め、利用実績の向上に繋がります（新規利用、体験、見学、相談等速やかな対応・周辺居宅へのアプローチ）。目標値は稼働率84.6%（介護29件+予防4件）とする。
- 法人内での連携を高め、サービスの質、業績の向上に努めます
- それぞれの専門職種で、ご利用者の満足度を高めるよう努めます
- 物品を大切に扱い、不要な物品購入を控えます

<評価>

- ご利用者一人一人の声を傾聴し、サービスの改善や向上につなげることが出来た。
- ご利用者の増加はあったが、育児休業等で職員数確保に苦慮し、その中でもサービスの質が維持できるよう、職員間で連携をとりサービス提供を行うことができた
- ご家族との情報交換を行うことで、安心してご利用いただける環境作りが行えた
- 家族や担当ケアマネ等と小まめな情報共有を心がけサービス内容の向上に努めることができた。
- 不適切ケアについて、再度意識を高く持ち、職員間で処遇の改善点等を指摘しあい、質の向上に努めることが出来た
-

<利用実績>

	開館日数	平均利用者数	平均介護度	稼働率(%)
4月	26	29.6	1.84	76.9
5月	27	30.0	1.85	76.6
6月	25	29.3	1.84	75.1
7月	27	28.0	1.80	71.7

8月	27	27.7	1.86	71.0
9月	25	28.0	1.79	71.7
10月	27	27.7	1.80	71.0
11月	26	27.6	1.81	70.7
12月	25	30.2	1.76	77.4
1月	24	30.5	1.75	78.2
2月	24	31.3	1.71	80.2
3月	26	29.4	1.64	75.3
平均(合計)	(309)	29.1	1.79	74.5

<評価>

- 令和6年度目標は33.0名/日（稼働率84.6％）に対して、29.1名/日（稼働率74.5％）となり、目標には未達となりました。
未達成理由としては、ご利用者の体調不良による入院や入所によるご利用者の減少、職員の入れ替わりや人材不足によるサービス提供の一部に生じたこと、新規利用者獲得に向けた営業活動の時間確保が不十分だったことが要因だと分析する。
今後の改善策として、地域包括支援センターや在宅介護支援センターとの連携強化し、営業活動を定期的に行い、新たな顧客の確保をする。また、業務効率を推進し、職員の定着率を向上し安定したサービス提供を目指し、目標達成に向けた着実な運営を図ってまいります。

<年間行事・ボランティア受入実績>

	行事計画	ボランティア受入報告
4月	・お花見弁当・タケノコ掘りゲーム・花咲かせゲーム・魚釣り～春Ver～・お手玉シュート・お好み焼きゲーム	・ステッカー作り（板野様）
5月	・母の日・かぶと釣り・ペットボトルバレー・にわとりパニック・輪投げ	・ステッカー作り（板野様）・演芸ボラ（おひさまクラブ）
6月	・父の日・ピンポン玉ゲーム・タコ釣り・空缶コロコロ・巻き巻きゲーム	・ステッカー作り（板野様）・手芸ボラ（高松農業高校）・演芸ボラ（劇団潮風）
7月	・七夕短冊作り・射的～夏Ver～・ボーリング・フライバスターズ・風船シューティング・金魚すくい	・ステッカー作り（板野様）
8月	・栄養ワンダー2024・うちわでGo・つるつるツルリング・ウサギが飛んだ・太巻きゲーム	・ステッカー作り（板野様）
9月	ゴールデンPK・おいでおいで・スカットボール・魚釣り～秋Ver～・ゴムパッチン・敬老会	・ステッカー作り（板野様）
10月	・コロコロボール・ひつつきもつつき・運動会・テーブルレク・射的	・ステッカー作り（板野様）
11月	・栗拾い・お好み焼きゲーム・風船シューティング・輪投げ・秋のデザートバイキング	・ステッカー作り（板野様）・演芸ボラ（劇団潮風）

12月	・忘年会・餅つき・タコ釣り・ボーリング・ウサギが飛んだ・にわとりパニック・クリスマス	・ステッカー作り（板野様）
1月	・絵馬作成、書初め・空缶コロコロ・お出玉シュート・新年会・巻き巻きゲーム・恵方巻ゲーム・館内喫茶	・ステッカー作り（板野様）・演芸ボラ（おひさまクラブ）
2月	・鬼退治的当てゲーム・魚釣り・ペットボトルバッティング・フライバスターズ	・ステッカー作り（板野様）
3月	・やきいも・つるつるツルリング・射的・タケノコ掘りゲーム・おいでおいで・花咲かせゲーム	・ステッカー作り（板野様）・演芸ボラ（劇団潮風）

<研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称	参加人数
4月	・ギャジアップについて	・9名
5月	・感染症対策	・10名
6月	・介護職員スキルアップ研修会	・2名
7月	・防災について ・介護現場における認知症ケア研修 ・介護職員スキルアップ研修	・9名 ・1名 ・1名
8月		
9月	・褥瘡予防 ・一時救命処置 ・認知症介護基礎研修	・8名 ・16名 ・1名
10月	・入浴介助について	・15名
11月		
12月	・高齢者虐待防止・権利擁護	・2名
1月	・お客様満足度アンケートより ・介護支援専門員更新研修	・10名 ・1名
2月	・感染症対策 ・レジオネラ研修会 ・介護施設における法律実務研修	・9名 ・2名 ・2名
3月	・集団指導 ・レジオネラ研修会（難波・萱谷） ・新人研修	・1名 ・2名 ・1名

<職員採用・退職・異動等>

- ・看護師1名採用（2/1付1名）
- ・介護員2名採用（5/1付1名、9/1付1名）
- ・看護師2名退職（1/15付1名、3/31付1名）
- ・介護員2名退職（6/5付1名、6/30付1名）

岡山シルバー在宅介護支援センター 令和6年度事業報告書

<基本理念>

「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- 多様な社会資源の中からご利用者・ご家族の意向や思いに沿ったサービスの選択が行えるよう、また、利用者が最期まで自分らしく暮らせる為の意思決定ができるよう支援する。
- 継続的なケアマネジメントを実施し、ご利用者の自立支援・ご家族の支援を行う。
- ご利用者・ご家族に対し、やさしい声かけ・挨拶・態度で接する。
- ご利用者・ご家族が、苦情・要望等について遠慮なく言えるような信頼関係を作る。
- 介護支援専門員としての役割、サービス等の説明をしっかりと行い、理解していただく事で双方が対等な関係を築く事ができるように努める。

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 住み慣れた地域で安心して、自分らしい生活が送れる様に地域や各関係機関との連携に努める。
- 特定事業所として、地域ケア会議への参加や地域包括支援センター、地域団体との連携を密にし、問題解決や対応が速やかに出来るように努める。
- ご利用者の人権擁護、虐待防止等の為に、発見時には速やかにしかるべき機関へ通報、対処する。

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 内部・外部研修へ積極的に参加し、自己研鑽の場を作る。
- 職員間での情報を交換し、個々の対応に必要な知識・技術の共有をする。
- 感染症対策を徹底「感染しない」「感染源にならない」「高齢者等を守る」
- ICTの活用による研修会等の参加を行い、情報交換や新たな情報収集を行う。
- 感染症及び自然災害が発生した際には、策定したBCPに基づきサービスが継続的に提供できるよう対応に努める。

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 特定事業所として安定した顧客の確保を図る。目標値は稼働率83.9%（介護168件+予防63件）とする。
- 地域包括支援センターや他事業所や地域の病院との連携を密に行い、新規利用者の獲得に努め、法人全体の業績アップを目指す。
- 消耗品の無駄を無くし、経費削減に努める。

<評価>

- 内部・外部の研修等へは積極的に参加し知識や技術の習得に努め、事業所内で情報共有する事ができた。
- 目標稼働率には未達成であるが、今後も各種機関と連携を図りながら安定した顧客の確保に努める。

<利用実績>

	要介護請求数	要支援請求数	稼働率
4月	147	46	72.1
5月	153	44	74.5
6月	154	43	74.8
7月	153	48	75.1

8月	154	52	76.1
9月	152	52	75.2
10月	156	52	77.0
11月	154	51	76.0
12月	152	51	75.1
1月	147	50	72.8
2月	142	49	70.3
3月	144	51	71.5
平均数	150.67	49.08	74.23

<評価>

・入院や、施設入所の増加もあり、目標値には届かなかった。今後も安定した顧客の確保に努め各種関係機関との連携をしながら新規獲得に努めて行きたい。

<研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称	参加者
4月	・居宅定例会議（月1回） ・居宅定例ミーティング（週1回） ・岡山エリア連絡会議 ・高齢者虐待防止研修 ・所内研修（集団指導読み合わせ）	1名
5月	・居宅定例会議 ・居宅定例ミーティング（週1回） ・岡山エリア連絡会議 ・岡山市居宅介護支援事業者連絡協議会総会及び第1回研修会 ・介護サービス博覧会（2日間）	1名 2名
6月	・居宅定例会議 ・居宅定例ミーティング（週1回） ・岡山エリア連絡会議 ・岡山県介護支援専門員協会岡山支部北エリアと北区北地域包括支援センター合同研修会 ・所内研修（事例検討会）	2名
7月	・居宅定例会議 ・居宅定例ミーティング（週1回） ・岡山エリア連絡会議 ・介護支援専門員専門研修Ⅱ ・岡山支部自主研修	1名 1名
8月	・居宅定例会議 ・居宅定例ミーティング（週1回） ・岡山エリア連絡会議 ・介護支援専門員専門研修Ⅱ ・ケアマネジャー大会	1名 1名

9月	・居宅定例会議 ・居宅定例ミーティング（週1回） ・岡山エリア連絡会議 ・他法人研修 ・BCPフォローアップ研修 ・地域課題に精神保健福祉士と共に向き合おう ・介護支援専門員専門研修Ⅱ ・主任介護支援専門員更新研修	 1名 1名 1名 1名
10月	・居宅定例会議 ・居宅定例ミーティング（週1回） ・岡山エリア連絡会議 ・岡山市居宅介護支援事業者連絡協議会第2回研修会 ・岡山市市民後見人養成講座 ・基礎研修「ケアマネジメント自己点検」 ・地域移行・地域定着支援事業研修会 ・主任介護支援専門員更新研修	 1名 1名 1名 1名 1名
11月	・居宅定例会議 ・居宅定例ミーティング（週1回） ・岡山エリア連絡会議 ・岡山県介護支援専門員更新研修 ・岡山県介護支援専門員実務研修実習指導者研修 ・岡山県介護支援専門員協会岡山支部北エリアと北区北地域包括支援センター合同研修会 ・所内研修（BCP：感染症） ・岡山市市民後見人養成講座	 1名 1名 1名 2名 1名
12月	・居宅定例会議 ・居宅定例ミーティング（週1回） ・岡山エリア連絡会議 ・介護予防支援・介護予防マネジメント研修 ・岡山市市民後見人養成講座 ・所内研修（BCP机上訓練） ・所内研修（高齢者虐待防止） ・所内研修（カスタマーハラスメント）	 1名 1名
1月	・居宅定例会議 ・居宅定例ミーティング（週1回） ・岡山エリア連絡会議 ・所内研修（事例検討会）	
2月	・居宅定例会議 ・居宅定例ミーティング（週1回） ・岡山エリア連絡会議 ・高齢者虐待防止研修（身体拘束・虐待防止）	
3月	・居宅定例会議 ・居宅定例ミーティング（週1回） ・岡山エリア連絡会議 ・集団指導	 1名

<職員採用・退職・異動等>

- 介護支援専門員1名異動（11/1付、倉敷シルバー在宅介護支援センターへ）

ケアハウス ゆうステイ岡山 令和6年度事業報告書

<基本理念>

「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

<行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- 明るい挨拶、優しい声かけをするとともに、各ご利用者の体調面、精神面の状態を把握する。
- 体調不良時には、本人の状態を速やかに把握し、主治医、ご家族と連携を取りながら、適切に対応する。

<行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- ご利用者の抱える課題解決にむけて、担当ケアマネージャーと連携を図り、在宅福祉サービスの導入と地域資源の活用を行う。

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 職員間での情報共有、他部署との連携を行い、ご利用者の状態の把握と課題・要望への解決に取り組む。
- 感染症予防・安全対策研修や自然災害/感染症BCP作成し、より実践的な研修を実施する。

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 入居待機者確保のため、併設事業所、他事業所・医療機関への空室状況等の案内を行い、月初めの満室状態を維持出来るように努める。目標稼働率を91.3%（21人）とする。

<評価>

- 毎日訪室し、安否確認とともに体調面、精神面の状態把握とサポートに努めることができた。
- 職員間だけに限らず、担当ケアマネージャー、他事業所との情報共有、連携を図り、ご利用者の課題・要望への解決につなげることができた。
- 月初めの満室が維持できなかった。入居待機者の確保、特にご夫婦での入居希望者の確保に努める必要がある。
- コスト意識を持って節水、節電に積極的に取り組むことができた。

<利用実績>

2024年度：21.0人（91.3%）目標

ケア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	21	21	21	21	21	20	19	20	22	22	22	21	20.9
稼働率	91.3	91.3	91.3	91.3	91.3	86.9	82.6	86.9	95.6	95.6	95.6	91.3	90.9

<評価>

- 令和6年度は、月初めの空室が出た月があったことが、稼働率の低下につながりました。夫婦部屋を単身で使用されていた方が一人部屋へ移動した後、夫婦部屋の入居に時間がかかったことと、入居が決まっていた方が状態の悪化によりキャンセルになったことが原因と思われます。不測の事態にも対応できるように、入居希望者の確保など積極的な営業活動に取組み、安定した経営に努めたいと思います。

<年間行事実績>

	行事報告
4月	2日 花見ドライブ 16日 食事フェア（お花見弁当） 21日 誕生会
5月	食事フェア（お好み焼き） 19日 誕生会
6月	11日 食事フェア（おにぎりバイキング） 16日 誕生会 19日 食事フェア（そうめん）
7月	2日 食事フェア（中華弁当） 21日 誕生会
8月	6日 夏祭り
9月	15日 敬老会・誕生会
10月	16日 食事フェア（大阪王将弁当） 27日 誕生会
11月	27日 食事フェア（おでん）
12月	22日 忘年会 24日 誕生会 25日 クリスマス会
1月	10日 新年会
2月	12日 食事フェア（おでん） 16日 誕生会
3月	5日 食事フェア（煮込みうどん） 16日 誕生会 21日 食事フェア（散らし寿司）

<研修等参加実績>

	研修・会議の名称
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	高齢者施設における救急搬送に係る講習会

11月	
12月	ケアハウス事例発表・意見交換会
1月	
2月	令和6年度 介護施設における法律実務研修 レジオネラ研修会
3月	

<職員採用・退職・異動等>

- なし

介護職員等処遇改善加算の取得状況

事業所名	加算の区分
倉敷シルバーセンター	加算Ⅰ
シルバーデイサービスセンター	加算Ⅰ
倉敷シルバーナーシングホーム（従来型）	加算Ⅰ
倉敷シルバーナーシングホーム（ユニット型）	加算Ⅰ
通所リハビリテーション	加算Ⅰ
岡山シルバーセンター	加算Ⅰ
岡山シルバーデイサービスセンター	加算Ⅰ

賃金改善以外の処遇改善に関する具体的な取り組み内容

○入職促進に向けた取り組み

- ・法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化
- ・他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築

○資質の向上やキャリアアップに向けた支援

- ・働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等
- ・エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入
- ・上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保

○両立支援・多様な働き方の推進

- ・職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備
- ・有給休暇が取得しやすい環境の整備
- ・業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実

○腰痛を含む心身の健康管理

- ・雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施

○生産性向上のための業務改善の取組

- ・高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化

○やりがい・働きがいの醸成

- ・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善
- ・利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供
- ・ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供